

美浜町
人権に関する町民意識調査
実施報告書

令和5年3月

美浜町人権尊重啓発協議会

目 次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書の見方.....	1
5 調査結果のまとめ.....	2
II アンケート調査結果.....	5
1 回答者の属性.....	5
2 人権協の活動に関して.....	6
3 人権問題についての意識.....	17
III 参考資料（調査票）.....	42

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

このアンケート調査は、美浜町人権尊重啓発協議会（以下「人権協」という）が様々な人権問題の解決・解消に向けて、啓発活動等の取り組みを進めていく中で、今後の取り組みの参考とするために「人権協の活動に関して」「人権問題についての意識」について町民の意識を把握することを目的とする。

2 調査概要

- ◇調査対象者：美浜町に居住している満20歳以上の住民
- ◇抽出法：住民基本台帳（令和4年6月現在）から無作為抽出
- ◇調査期間：令和4年7月1日（金）～令和4年7月31日（日）
- ◇調査方法：調査票による本人記入方式、郵送による配布・回収

3 回収結果

種別	配布数	有効回収数	有効回収率
女性	400件	163件	40.8%
男性	400件	145件	36.3%
合計	800件	319件	39.9%

※有効回収数の合計には、「その他」「回答しない」「不明・無回答」が含まれている。

4 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

5 調査結果のまとめ

(1) 人権協の活動に関して

○人権協の活動全般への参加について（問4）

人権協の活動・行事等については、4割の人が「参加した」と回答しており、前回調査（平成24年実施）に比べて僅かに減少している。また、20歳代において「参加した」の割合が5割となっている。

○人権協の広報について（問7、問9）

広報誌「ふれあい」の発行については、7割弱の人が「読んだことがある」と回答しており、20歳代においては6割の人が、70歳以上においては8割の人が「読んだことがある」と回答している。

また、カラー刷りの冊子「ふれあい」については、前回調査と比べて「読んだことがある」と回答した人が18.2ポイント減少している。

○「人権作品の公募」「町民人権講座」「人権のつどい」について（問10、問11、問12）

「人権作品の公募」については、「知っているがあまり関心がない」が5割近くと最も多いが、年代別にみると「関心があり、作品応募もした」が20歳代で21.2%と最も高くなっている。

前回調査と比べると「町民人権講座」については、「やっていることを知らなかった」が4.1ポイント増加している。また、「町民人権講座」「人権のつどい」どちらも、年代が若くなるにつれて「やっていることを知らなかった」が高い傾向にある。

基本的な人権が尊重される社会の実現を目的とした人権協の活動について、現状では、広報（広報誌「ふれあい」）の認知度や読んだことがある人は前回と同様に6割以上いることから、これまでの活動の継続が成果として表れていることがわかる。

また、各職場、集落、所属の団体などでの学習会に参加した人の割合が、前回調査より高くなっており、様々な場において学習会の開催が浸透してきていることがわかる。

一方で、カラー刷りの冊子「ふれあい」や「町民人権講座」「人権のつどい」等の活動については若い世代になるほど認知度が低い傾向にあることから、今後はより一層、年代別のニーズを把握したうえでの広報・啓発活動に取り組んでいく必要がある。

(2) 人権問題の意識について

○人権についての意識（問14、問19、問20）

人権や差別問題の関心については、6割近くの人が『関心がある』（「かなり関心がある」「関心がある」）と回答しており、前回調査と比べて僅かに増加している。

「美浜町は人権が尊重される町」という意識については、過半数の人が「尊重されていると思う」と感じているが、「町民一人ひとりの人権意識は10年前と比べて高くなったか」という設問については、『思わない』（「あまり思わない」「思わない」）が『思う』（「かなり思う」「少し思う」）を上回っており、町民一人ひとりの人権意識の変化を感じている人は少なくなっている。

○人権侵害・相談について（問 15、問 16）

人権侵害の経験については、約7割の人が「(経験が) ない」、約3割の人が「(経験が) ある」と回答している。

人権侵害を受けた場合、どのような対応をするかについては、「身近な人に相談する」が4割強と最も多く、次いで「専門機関等に相談する（弁護士、警察、人権擁護委員、法務局など）」「相手に抗議する」となっている。

○伝統行事やしきたりの中での女性の立場・日本の風習について（問 21、問 22）

地域の伝統行事やしきたりの中で女性が排除される場合があることについて、「おかしいと思うし、変えていくべきだと思う」が前回調査と比べて9.1ポイント増加している。

日本の風習について、①「友引」の日に葬式をしてはいけないという風習、②結婚式は「大安」の日がよいという風習、④結婚式場で、「〇〇家、〇〇家結婚披露宴」といった掲示をする風習については、「当然のことだと思う（いつも気にしている）」が前回調査よりも減少しているものの、依然として高くなっている。

また、③結婚相手を決めるときに、家柄とか血筋を問題にする風習については、「間違っていると思う（気にしていない）」が5割強となっている。

○関心のある人権問題について（問 23）

関心のある人権問題について、「学校でのいじめや体罰の問題」が7割を超えており、次いで「幼児・児童への虐待の問題」が7割近く、「女性に対する差別や暴力（DV）などの問題」が5割となっている。「幼児・児童への虐待の問題」「女性に対する差別や暴力（DV）などの問題」については、前回調査と比べて関心が高まっている。また、「感染症（新型コロナウイルスなど）に関わる誹謗中傷の問題」「インターネットによる人権侵害の問題」は今回調査で高くなっている。

○人権についての理解を深めるために役立ったもの・重要な取り組み（問 25、問 26）

役立ったものについては、「学校での人権学習」が3割以上と最も多く、前回調査からも増加している。次いで「講演会や講座」「テレビ・ラジオ番組」となっている。特に20歳～30歳代においては「インターネットやSNSなど」が高くなっている。

重要な取り組みについては、「家庭での教育」が約3割と最も高いが、前回調査と比べて「団体（人権協など）による啓発運動」が重要だと考えている人が増えている。また、30歳代～50歳代では「家庭での教育」が3割以上いることがわかる。

○同和問題をめぐる意識・行動について（問 27、問 28）

会話中に旧同和地区の方に対する差別的な発言があった場合の行動として、「特に何もせず黙っていると思う」が3割強と最も多く、前回調査よりも増加している。

同和問題の解決に対する考え方については、7割以上の人が解決に向けた意識（「必ずしも無関係だとは思わないが、自分ではどうしようもないので、自分だけは差別しないよう心がけたいと思う」「基本的人権に関わる国民一人ひとりの問題なので、自分も解決に努力しようと思う」）を持っており、前回調査と比べて関心が高まっている。

前回調査と同様に、「子どもの人権」に対する町民の関心は依然として高く表れる結果となっている。また、地域の活動において女性が排除される場合があることに対して、「おかしいと思うし、変えていくべきだと思う」という意見が前回調査よりも増加している。一方で、女性よりも男性の方が「おかしい」と思う意見が高くなっており、地域における実際の役割や状況を受けて、男女の意識に差がみられる。

さらに、近年の新型コロナウイルスなどの社会情勢を受け、「感染症（新型コロナウイルスなど）に関わる誹謗中傷」や「インターネットによる人権侵害の問題」については、前回調査と比較すると町民の関心度が高まっていることがわかる。実際に、新型コロナウイルス感染症流行時には感染した人やその家族、日本に住む外国人などに対して誹謗中傷がネット上に書き込まれたといったケースがあり、情報の収集や発信における個人の責任やモラルについて理解を深めるための啓発が必要であると考えられる。

同和問題については、差別発言があった場合の対応などをみると、消極的な姿勢をとる傾向が高くなっており、特に若い年代層において顕著である。

こうしたことから、人権問題においてどのような行動をすればよいのかわからない人や、何も行動せずにいる人に対し、正しい知識の伝達や積極的な啓発活動を行っていく必要がある。

人権侵害を受けた経験がある人の割合は約3割となっており、前回調査と比べて僅かに減少している。人権侵害を受けた際は、身近な人に相談する人が4割強と最も多くなっており、専門機関等に相談する（弁護士、警察、人権擁護委員、法務局など）人の割合は前回調査と比べて、10.3ポイント増加している。町民が身近な人以外にも専門機関等に相談するという意識が高まっていることから、町民のニーズに対応すべく、相談体制や支援の周知をより一層発信していくことが求められる。

II アンケート調査結果

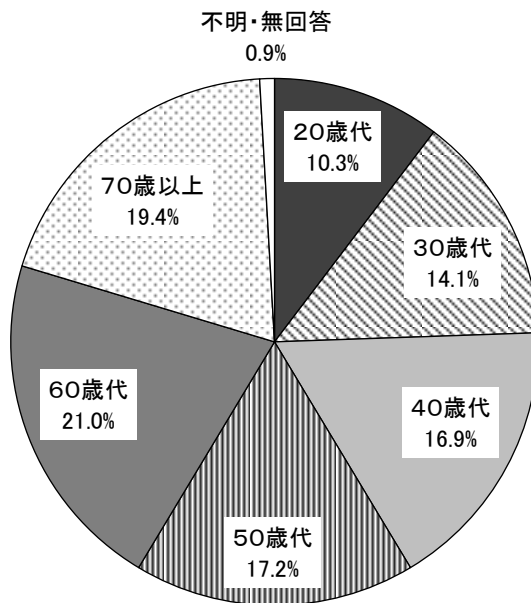
I 回答者の属性

年代では、60歳代が21.0%、70歳以上が19.4%と、高齢層が多く、以下、年代が下がるほど割合が減少し、50歳代は17.2%、40歳代は16.9%、30歳代は14.1%、最も少ないのは20歳代の10.3%である。

性別では、男性が45.5%、女性が51.1%と、女性が多くなっている。

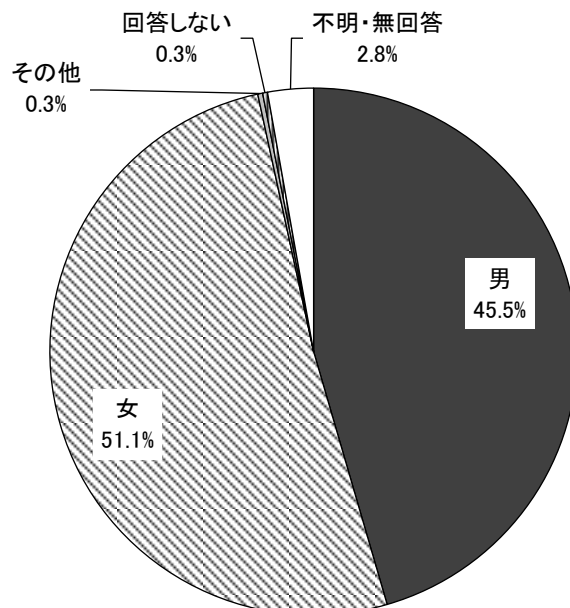
問1 あなたの年代は

全体(n=319)



問2 あなたの性別は

全体(n=319)



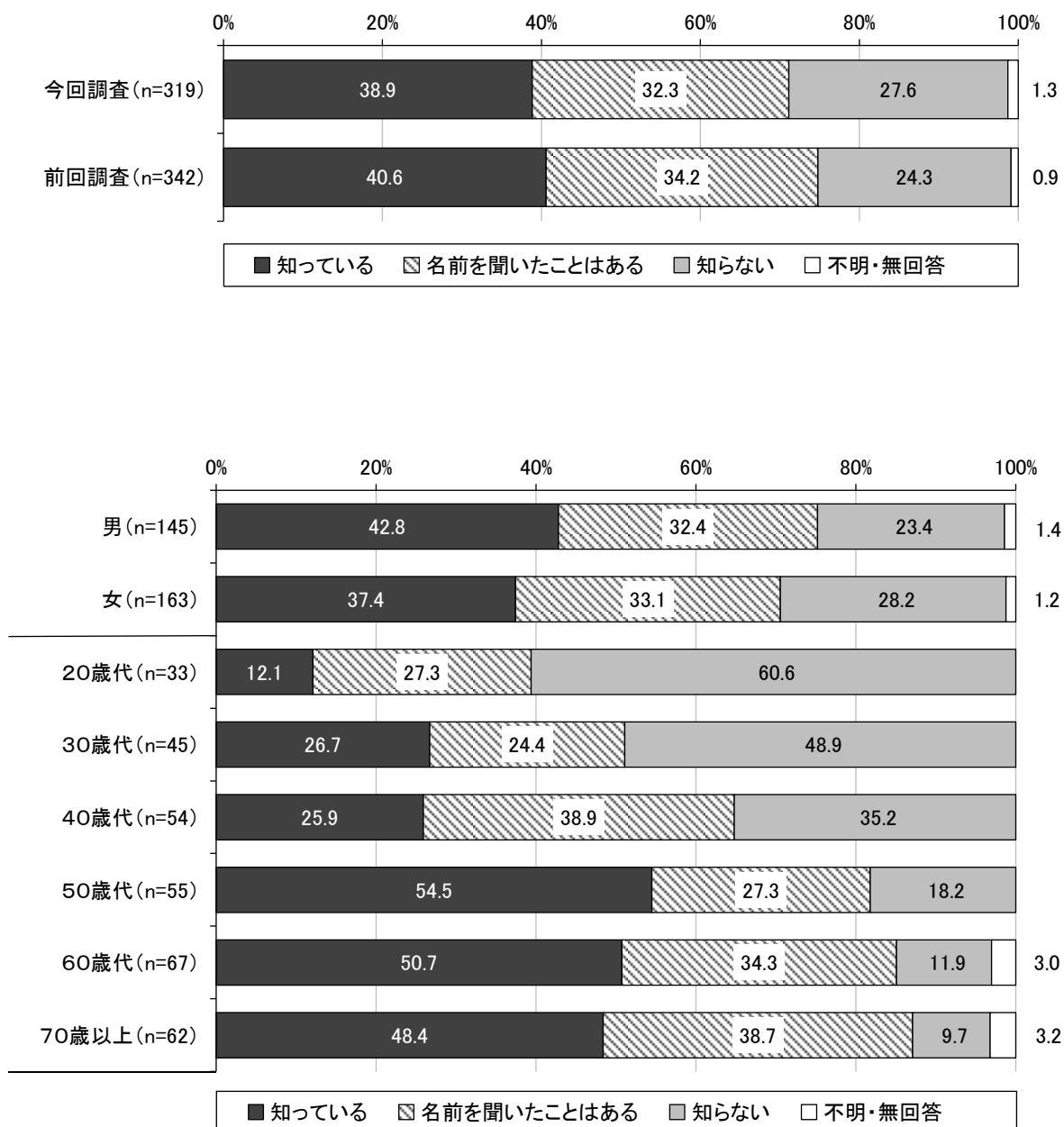
2 人権協の活動に関して

問3 あなたは、「人権協」という組織について知っていますか。

全体としては、「知っている」が38.9%と最も高く、前回調査を比べて大きな差はみられない。

性別にみると、認知度が女性よりも男性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「知っている」の割合が50歳代で54.5%と最も高くなっている。

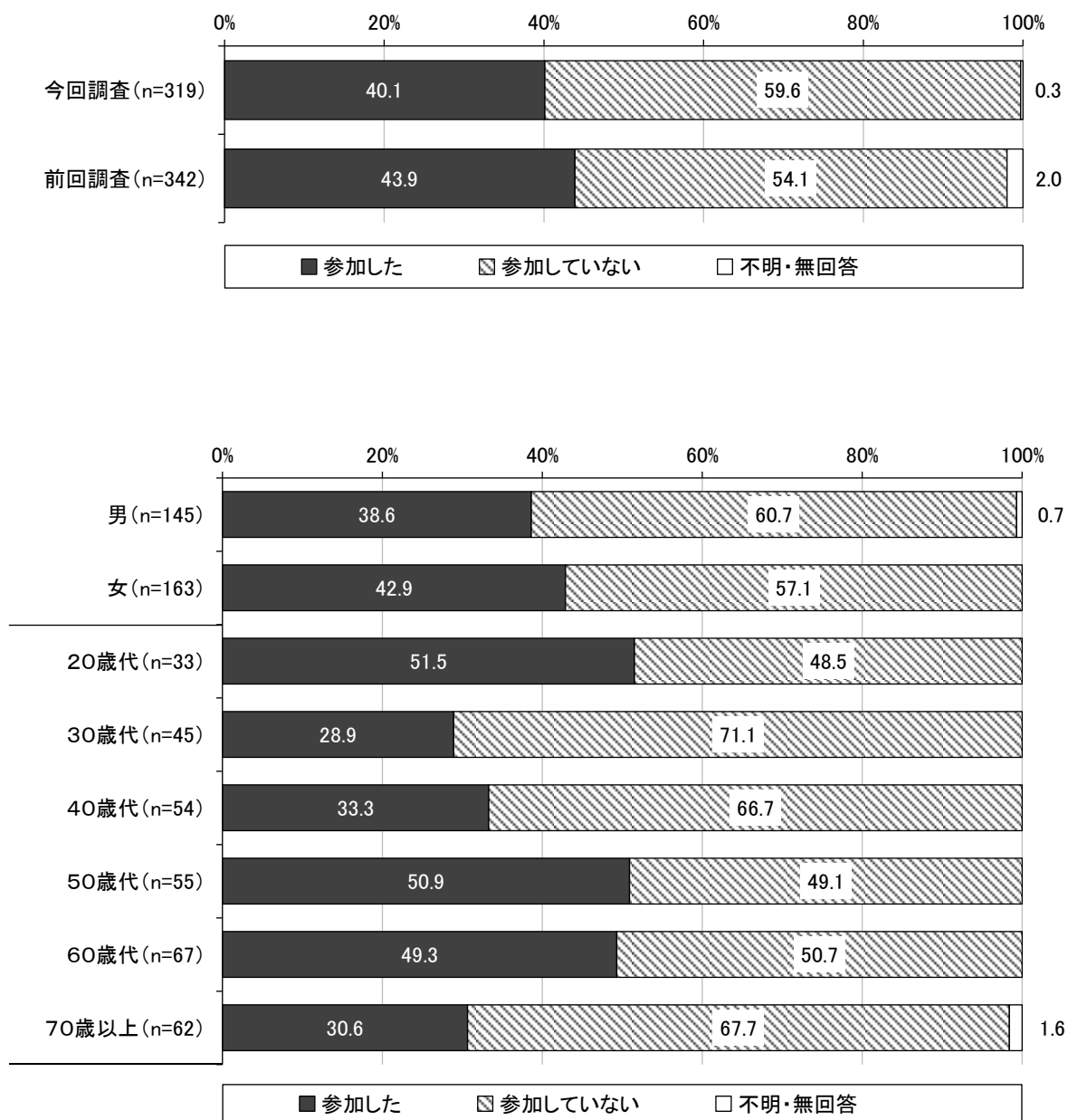


問4 あなたは、下記のような人権協の活動や行事等〔①評議員会（総会）②人権協広報誌「ふれあい」（投稿やクロスワード解答等）③美浜町生涯学習センターなびあすに設置の人権協共同作品コーナー（作品作りへの参加等）④人権作品（短い手紙・絵・ポスター・写真への応募）⑤町民人権講座（年間6回開催）⑥人権のつどい（12月の人権週間中に開催）⑦集落や職場の研修会〕のうちどれか1つでも参加しましたか。

全体としては、「参加していない」が59.6%と「参加した」を上回っており、前回調査と比べて大きな差はみられない。

性別にみると、参加率は男性よりも女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、20歳代、50歳代、60歳代で「参加した」が約50%となっている。

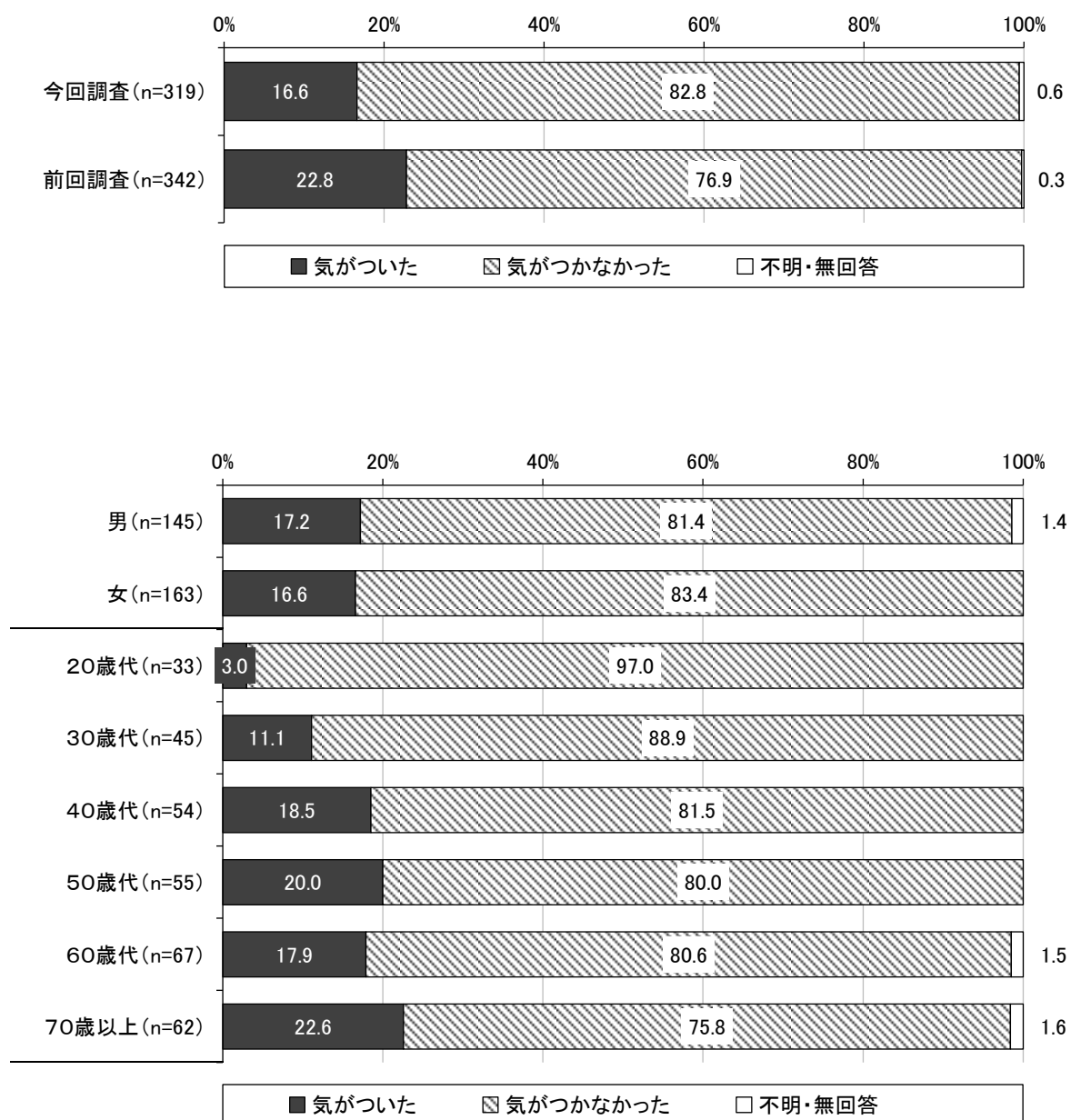


問5 12月の人権週間中に、人権擁護委員と人権協の委員と一緒に広報車で町内を巡回していますが、気がつきませんでしたか。

全体としては、「気がつきませんでした」が82.8%と「気がついた」を上回っている。前回調査と比較すると、「気がついた」が6.2ポイント低くなっている。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「気がついた」の割合が70歳以上で22.6%となっている。

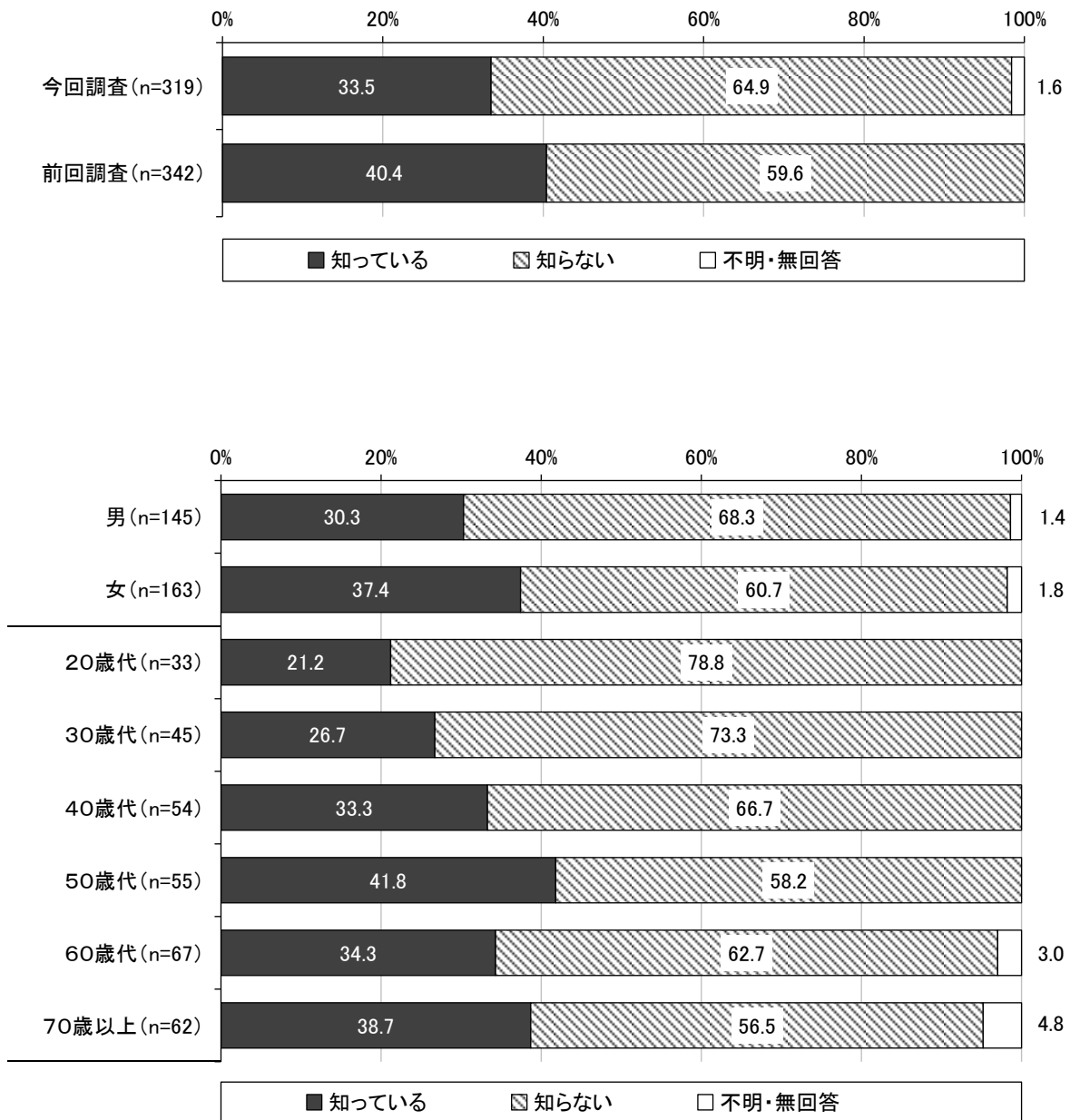


問6 人権のつどいや町内の各種イベントで啓発物品（ウェットティッシュやハンドタオルなど）を配布していることを知っていますか。

全体としては、「知らない」が64.9%と「知っている」を上回っており、前回調査と比べて大きな差はみられない。

性別にみると、「知っている」は女性が男性よりも7.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「知っている」の割合が50歳代で41.8%と最も高くなっている。



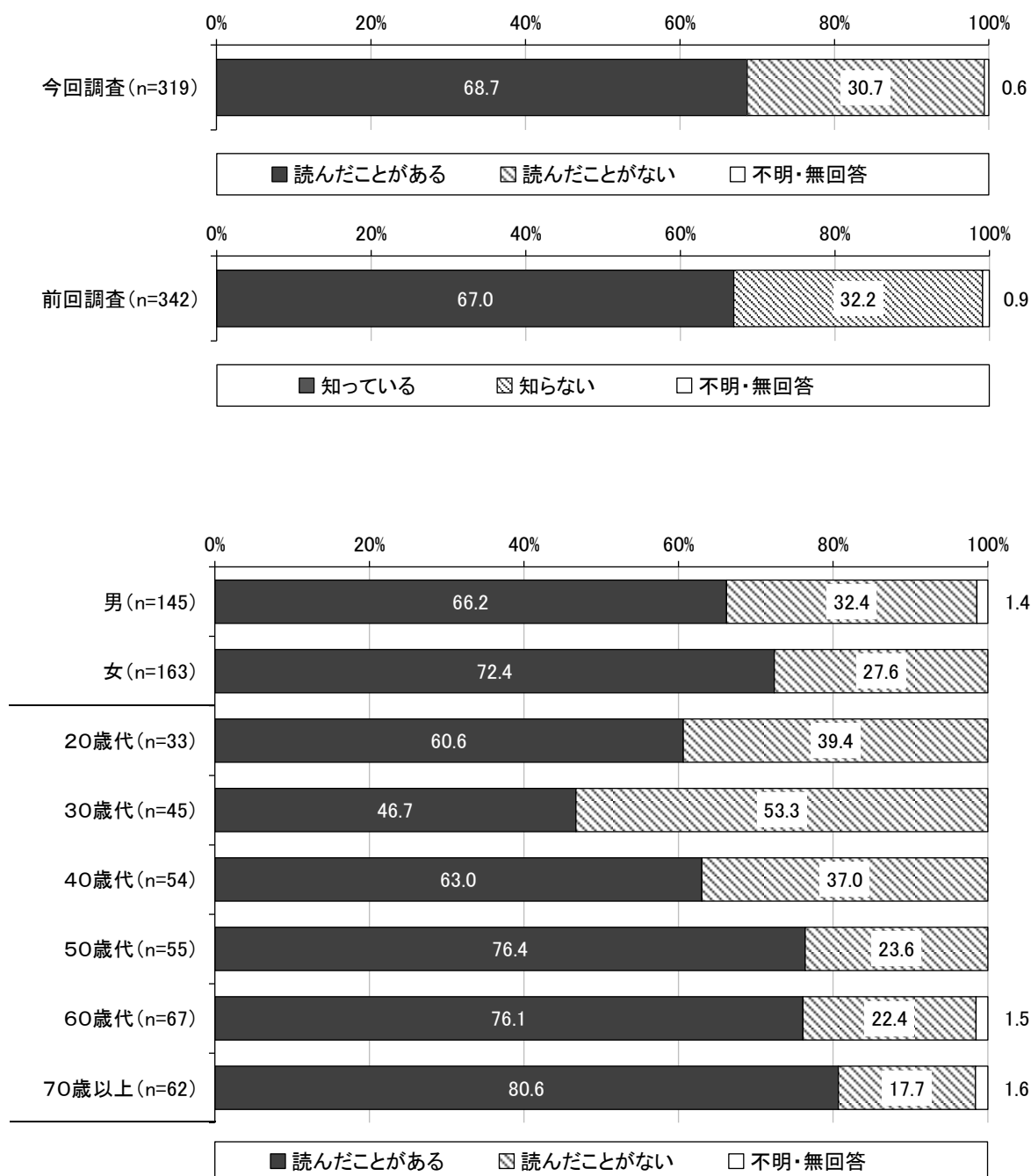
問7 人権協では、毎年3回（7月・11月・3月、年度によって臨時増刊号有）広報誌「ふれあい」を各戸配布していますが、読んだことがありますか。

全体としては、「読んだことがある」が68.7%と「読んだことがない」を上回っている。

性別にみると、「読んだことがある」は女性が男性よりも高くなっている。

年齢別にみると、「読んだことがある」の割合が70歳以上で80.6%と他と比べて高くなっている。

※今回調査では、選択肢を「読んだことがある」「読んだことがない」に変更

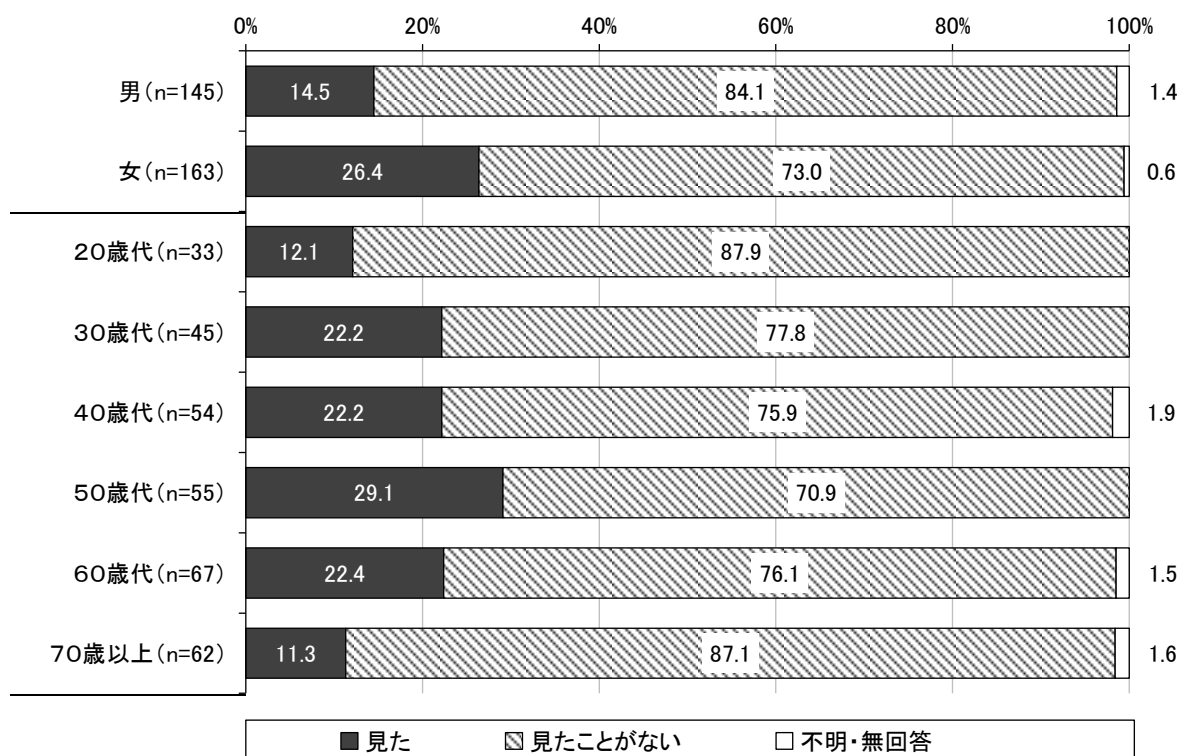
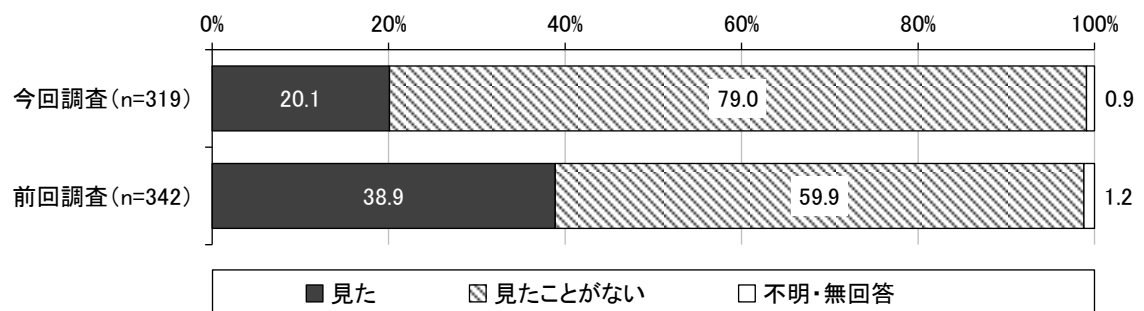


問8 なびあすに年間を通して人権共同作品コーナーを設けていましたが（令和3年度「リボンの共同作品」、令和2年度「ハートの共同作品」など）ご覧になりましたか。

全体としては、「見たことがない」が79.0%と「見た」を上回っており、前回調査と比べ、「見た」が低くなっている。

性別にみると、「見た」は女性が男性よりも11.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「見た」の割合が50歳代で29.1%と他と比べて高くなっている。

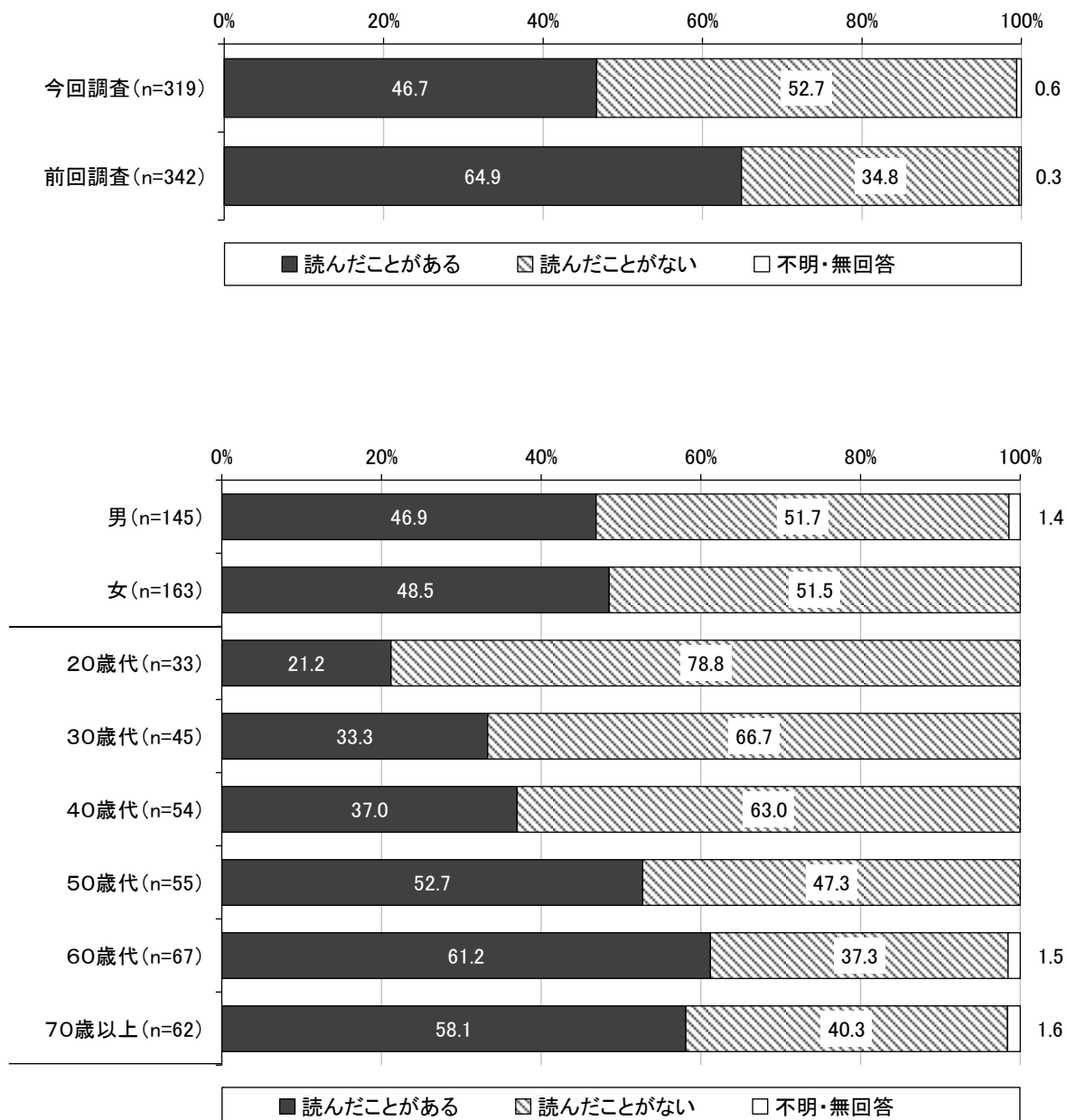


問9 人権協では、カラー刷りの啓発資料「ふれあい」（令和3年度「当たり前を見直そう」、令和2年度「性のグラデーション」など）を、11月に各戸配布しています。あなたは読んだことがありますか。

全体としては、「読んだことがない」が52.7%と「読んだことがある」を上回っており、前回調査と比べると、「読んだことがある」が18.2ポイント低くなっている。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「読んだことがある」の割合が50歳代以上で5割以上と高くなっている。

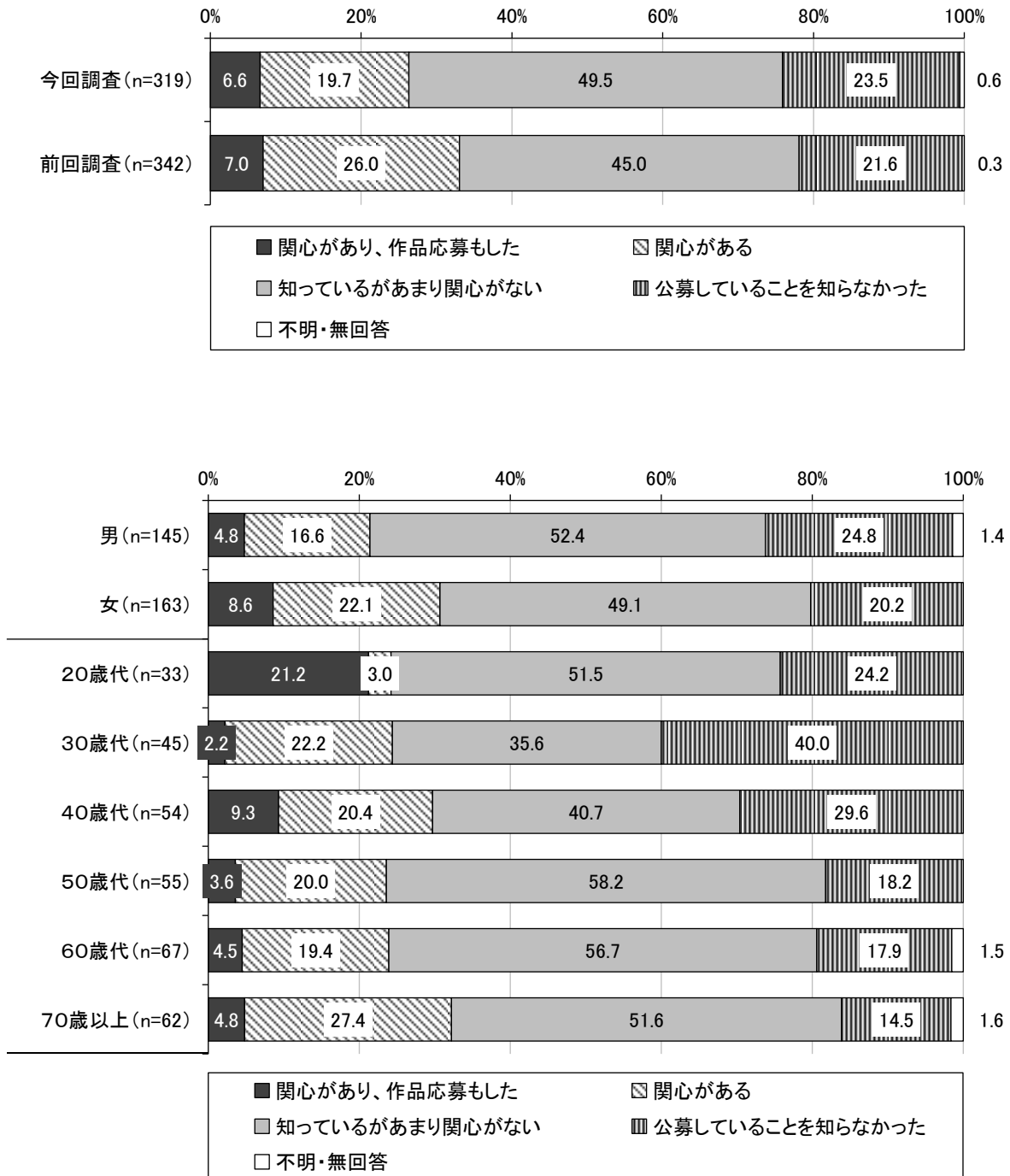


問 10 人権協では、人権作品（短い手紙・ポスター・絵・写真）の公募を行っていますが、その公募について関心がありますか。

全体としては、「知っているがあまり関心がない」が 49.5%と最も高く、「関心がある」は前回調査と比べて 6.3 ポイント低くなっている。

性別にみると、「関心がある」は女性が男性よりも 5.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「関心があり、作品応募もした」の割合が 20 歳代で 21.2%と他と比べて高くなっている。

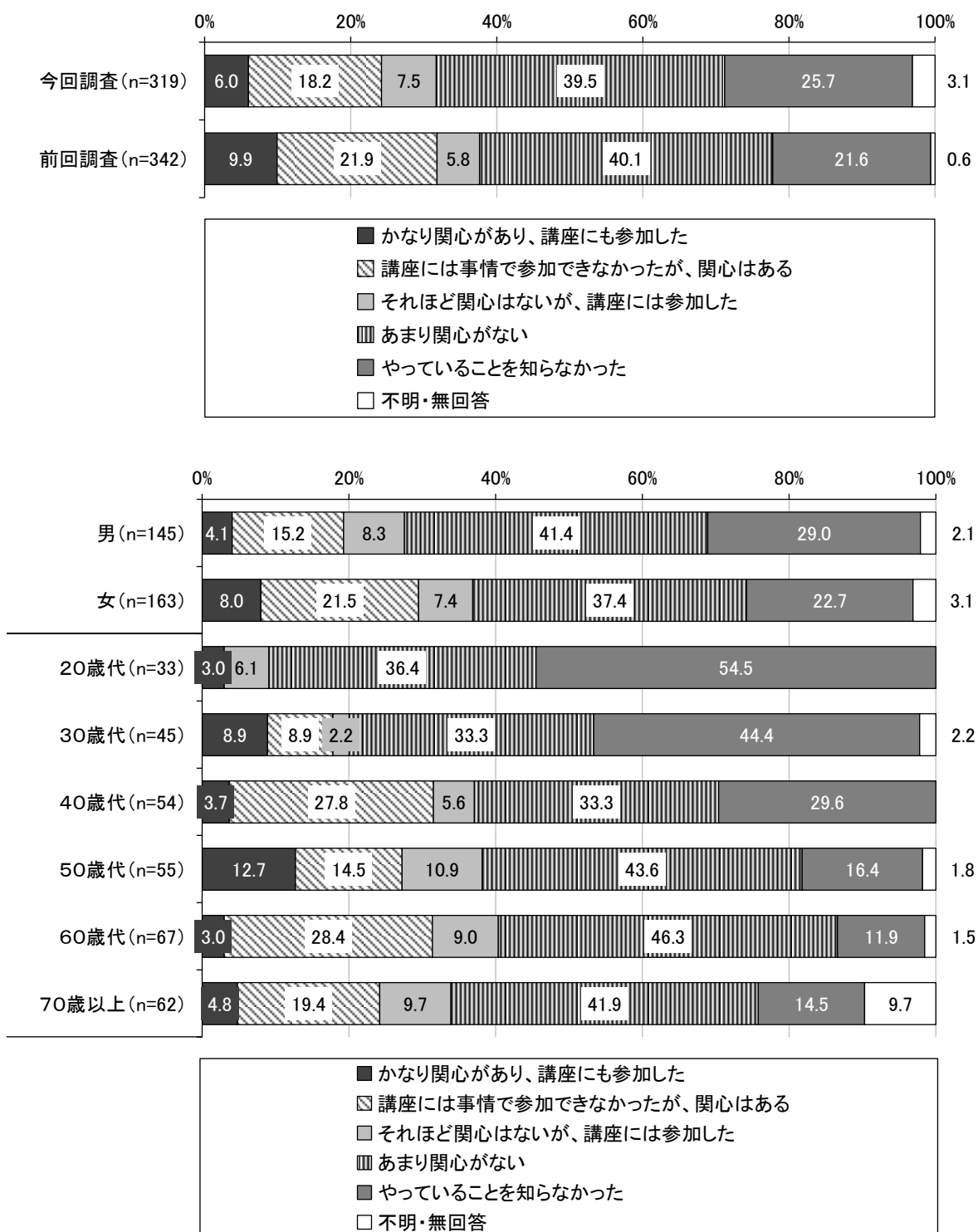


問 11 人権協で、年間6回開催している町民人権講座に関心がありますか。

全体としては、「あまり関心がない」が39.5%と最も高く、前回調査と比べても、大きな差はみられない。

性別にみると、「講座には事情で参加できなかったが、関心はある」は女性が男性よりも6.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「かなり関心があり、講座にも参加した」の割合が50歳代で12.7%と他と比べて高くなっている。また、若い世代ほど「やっていることを知らなかった」が高い傾向にあることがわかる。

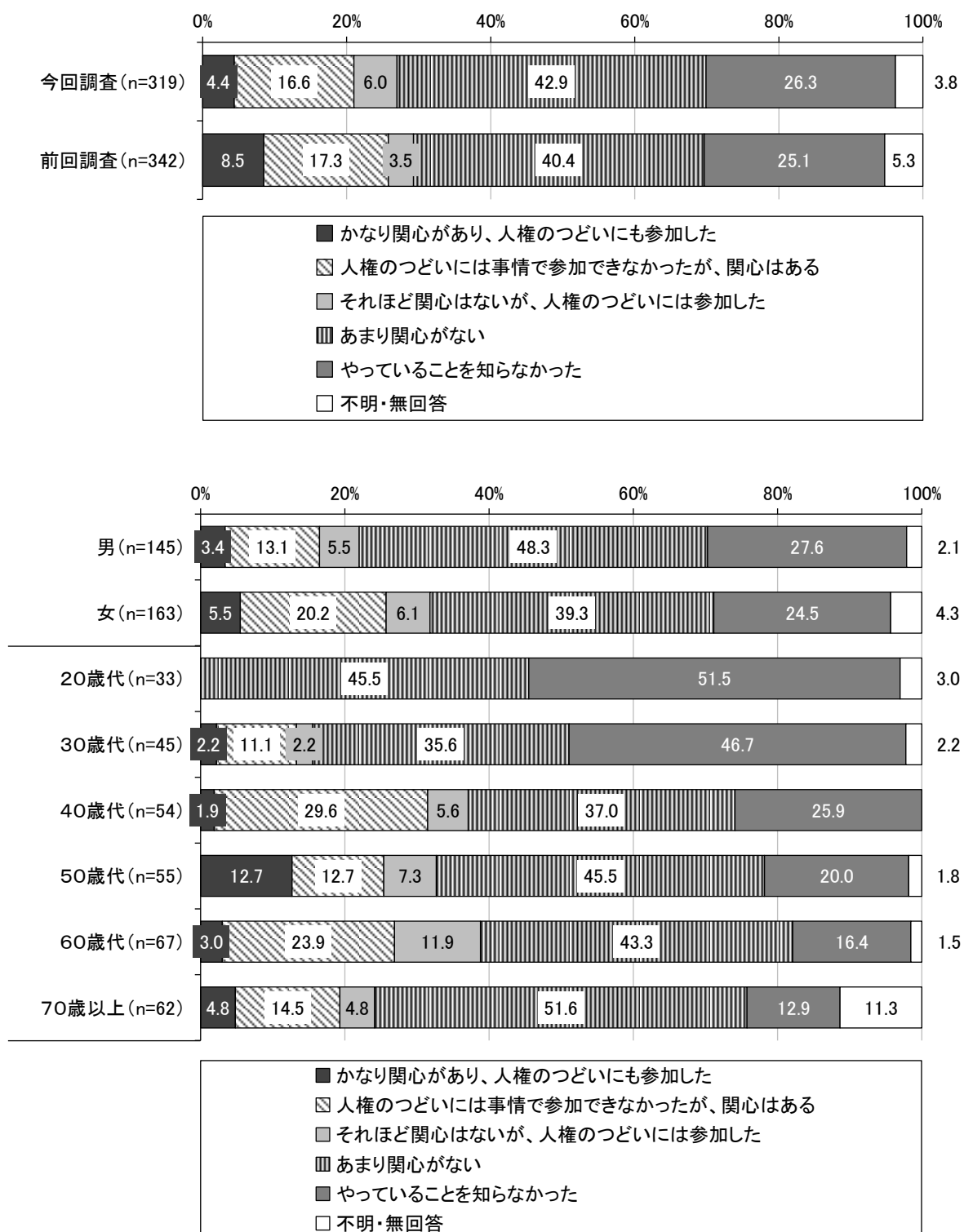


問 12 12月に開催している「人権のつどい」に関心がありますか。

全体としては、「あまり関心がない」が42.9%と最も高く、前回調査と比べても、大きな差はみられない。

性別にみると、「人権のつどいには事情で参加できなかったが、関心はある」は女性が男性よりも7.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、町民人権講座同様「かなり関心があり、人権のつどいにも参加した」の割合が50歳代で12.7%と他と比べて高くなっている。また、若い世代ほど「やっていることを知らなかった」が高い傾向にあることがわかる。

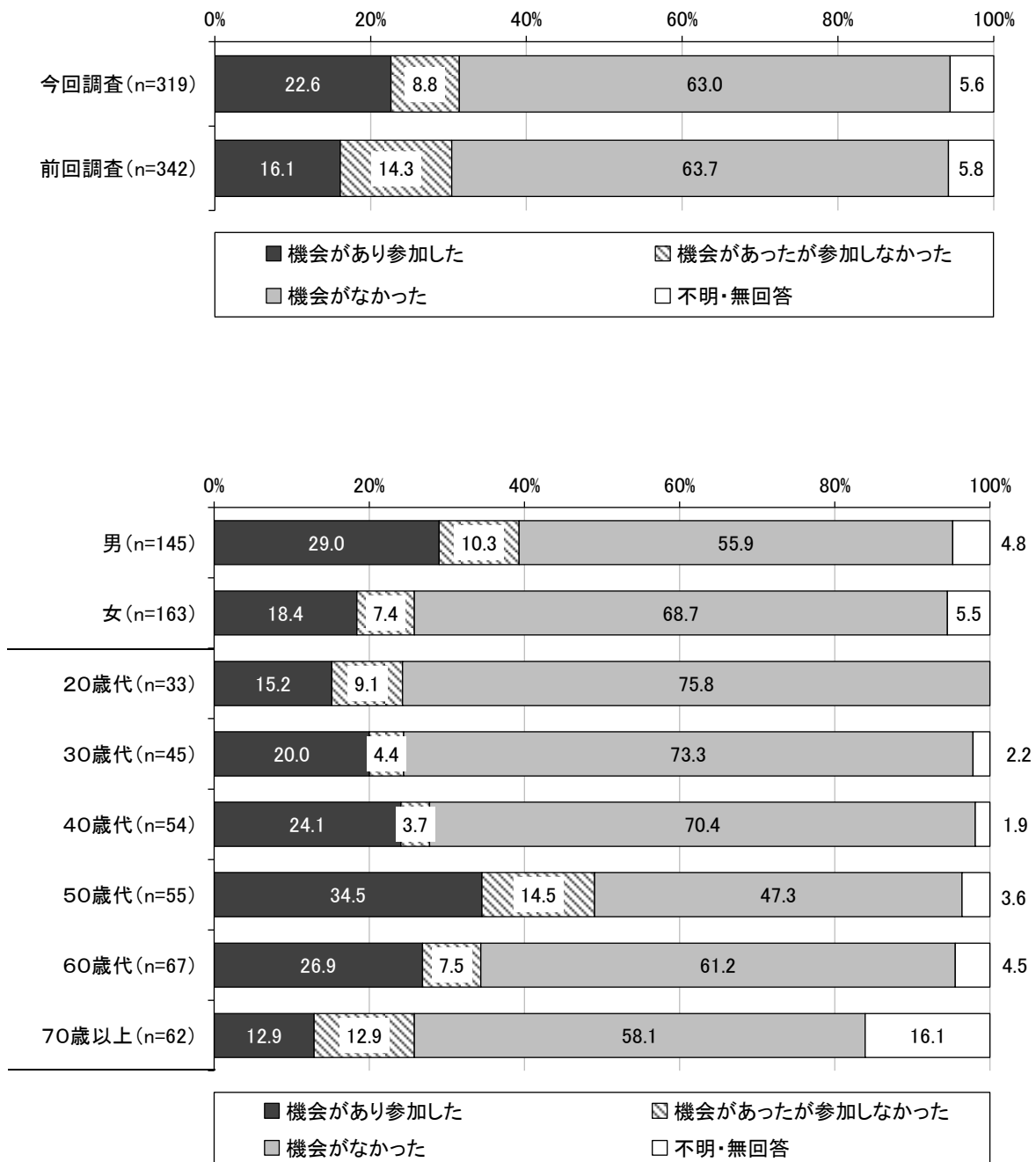


問 13 各職場、集落、所属の団体などで、人権に関する学習の機会がありましたか。

全体としては、「機会がなかった」が 63.0%と最も高くなっている。前回調査と比べ「機会があり参加した」が 6.5 ポイント高くなっている。

性別にみると、「機会があり参加した」は男性が女性よりも 10.6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「機会があり参加した」の割合が 50 歳代で 34.5%と他と比べて高くなっている。



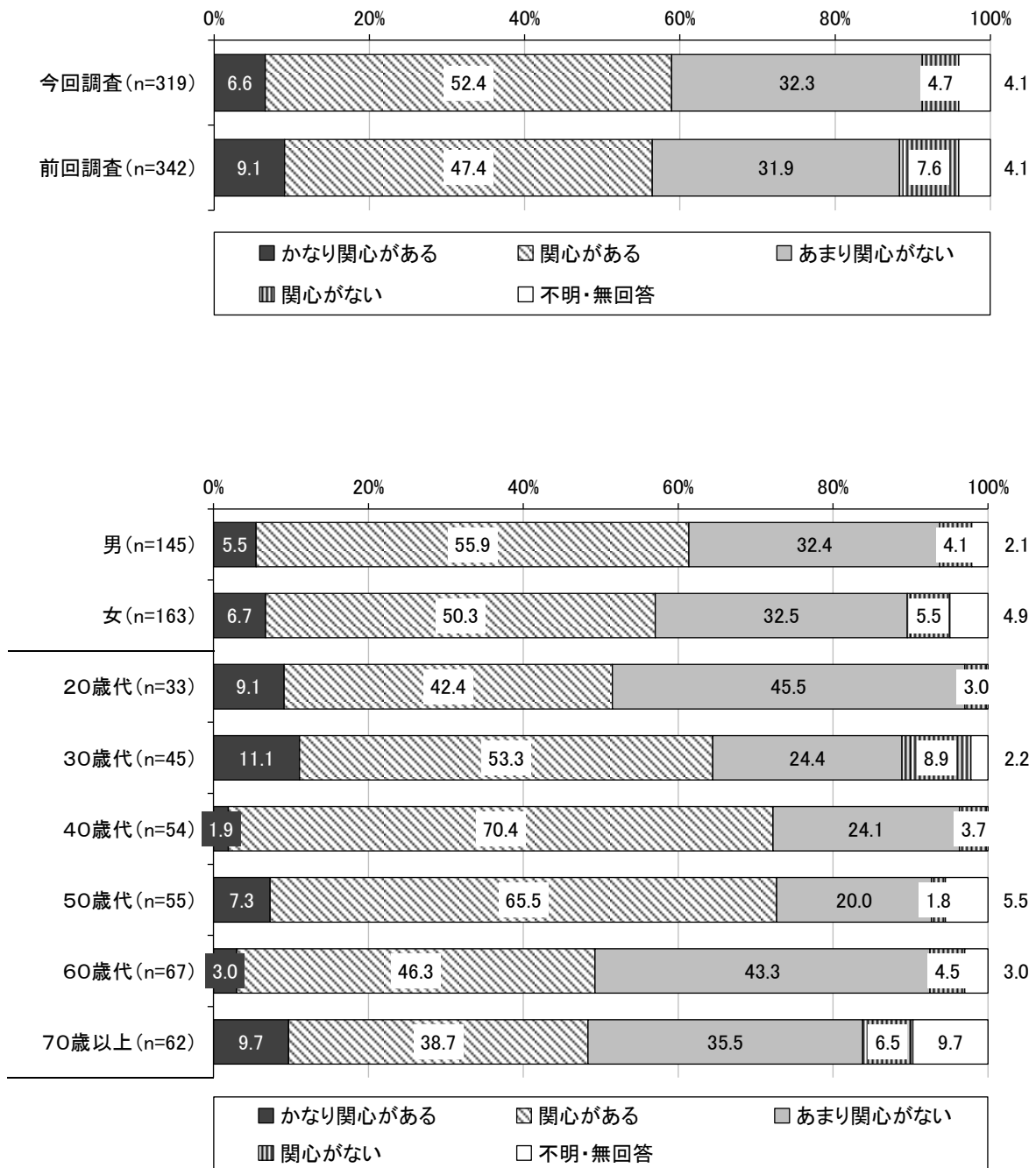
3 人権問題についての意識

問 14 あなたは、人権や差別問題に関心がありますか。

全体としては、「関心がある」が52.4%と最も高く、前回調査と比べ5.0ポイント高くなっている。

性別にみると、「関心がある」は男性が女性よりも5.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「関心がある」の割合が30歳代～50歳代で5割以上と高くなっている。

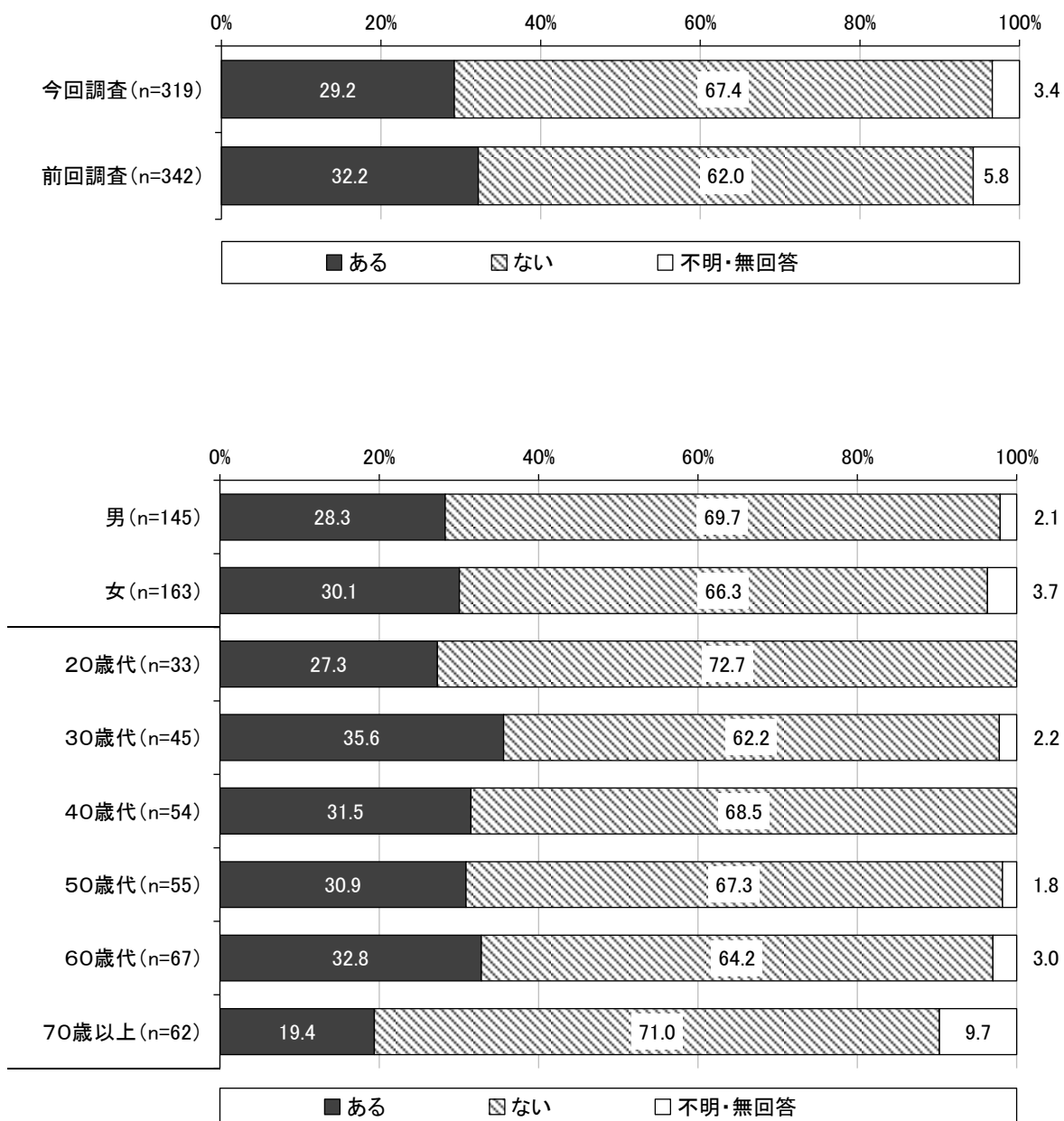


問 15 あなたは、今までに他人から自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

全体としては、「ない」が 67.4%と「ある」を上回っており、前回調査と比べて大きな差はみられない。

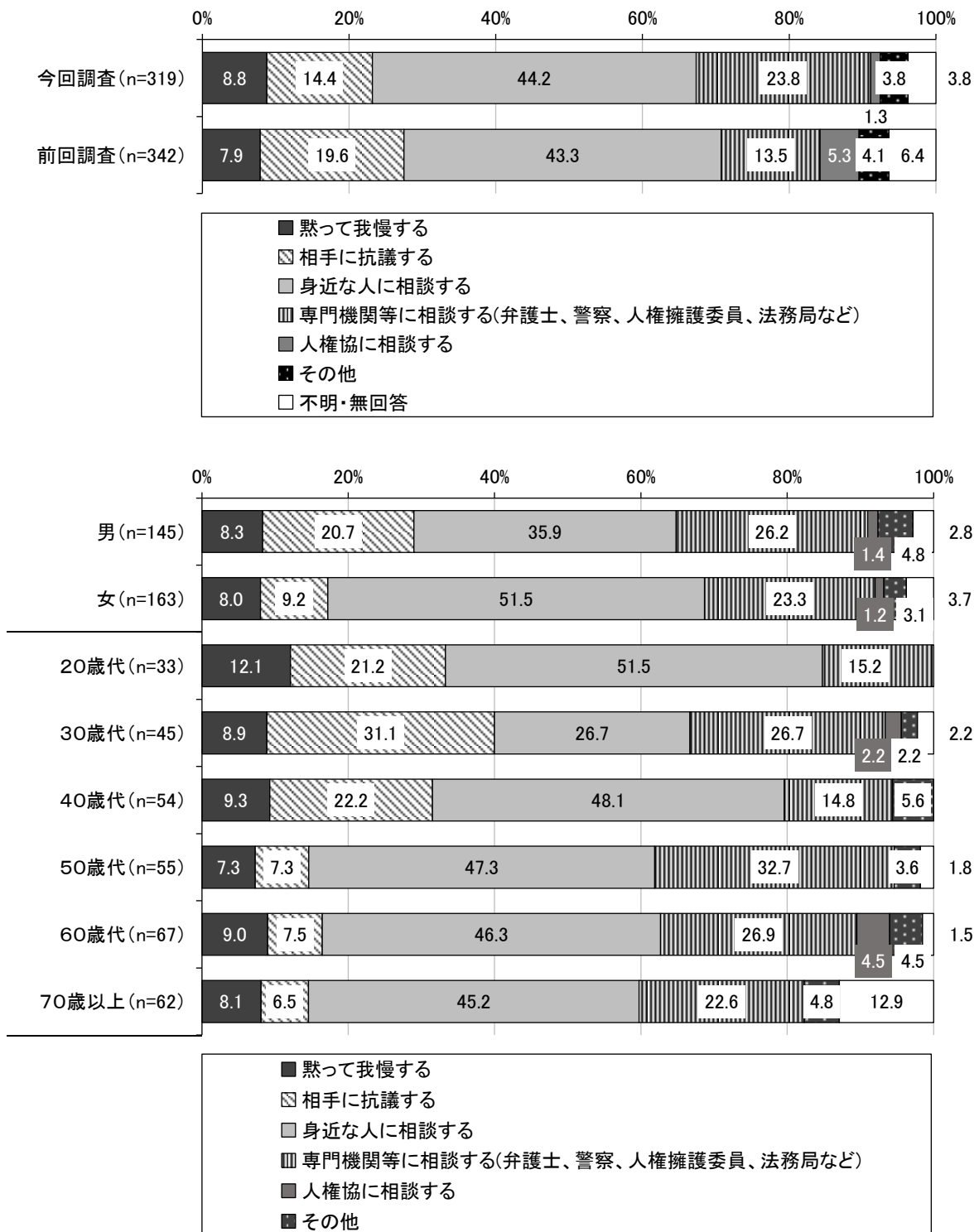
性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「ある」の割合が 20 歳代と 70 歳以上で他と比べて低くなっている。



問 16 もし、あなたが自分または家族の人権を侵害された場合、どのような対応をしたいと思いますか。1つだけ選んでください。

全体としては、「身近な人に相談する」が44.2%と最も高く、次いで「専門機関等に相談する（弁護士、警察、人権擁護委員、法務局など）」が23.8%、「相手に抗議する」が14.4%となっている。
性別にみると、「身近な人に相談する」は女性が男性よりも15.6ポイント高くなっている。
年齢別にみると、「相手に抗議する」の割合が30歳代で31.1%と他と比べて高くなっている。

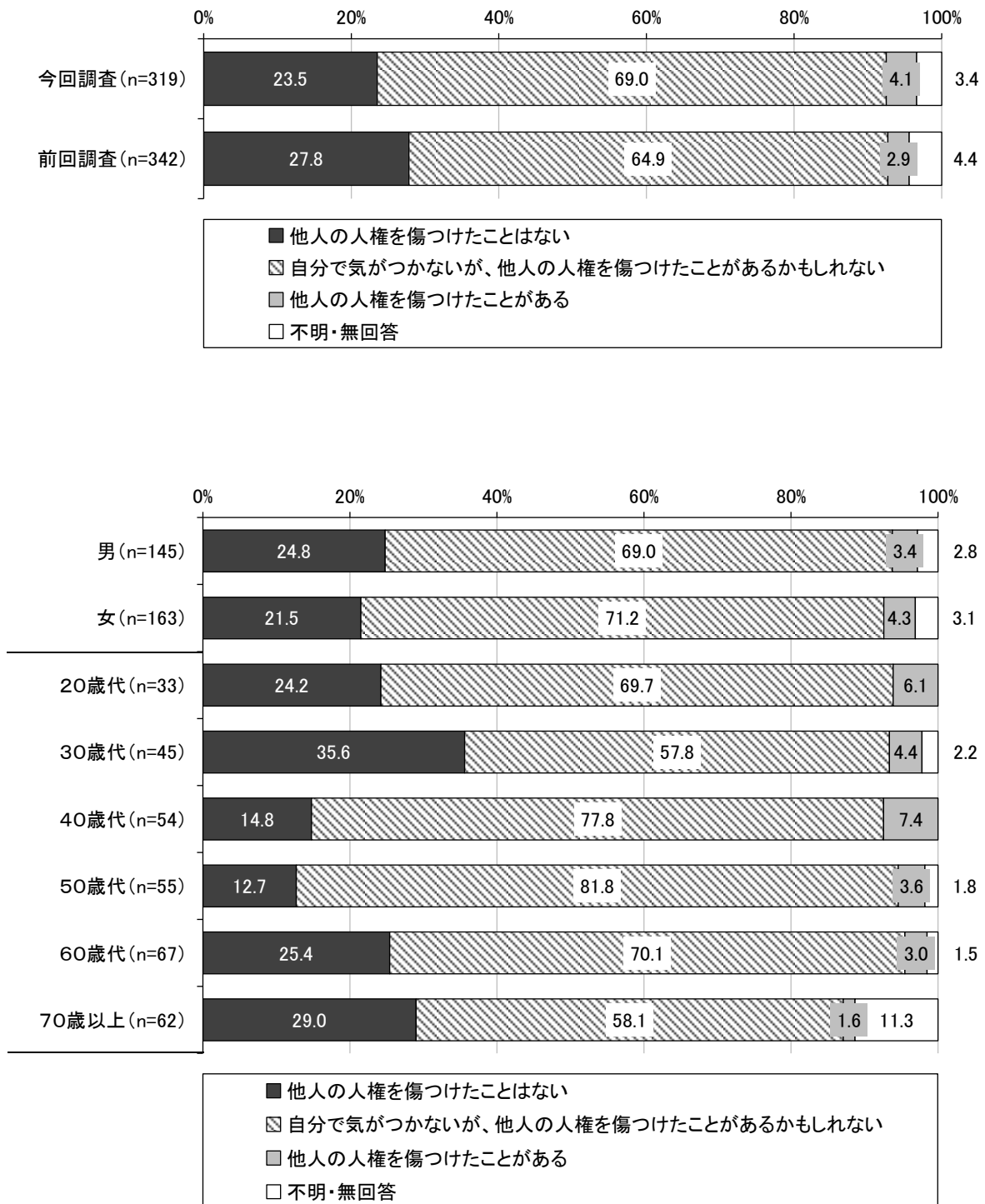


問 17 あなたは、他人の人権を傷つけたことがあると思いますか。

全体としては、「自分では気がつかないが、他人の人権を傷つけたことがあるかもしれない」が 69.0% と最も高く、前回調査と比べて 4.1 ポイント高くなっている。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「他人の人権を傷つけたことはない」の割合が 30 歳代で 35.6% と他と比べて高くなっている。

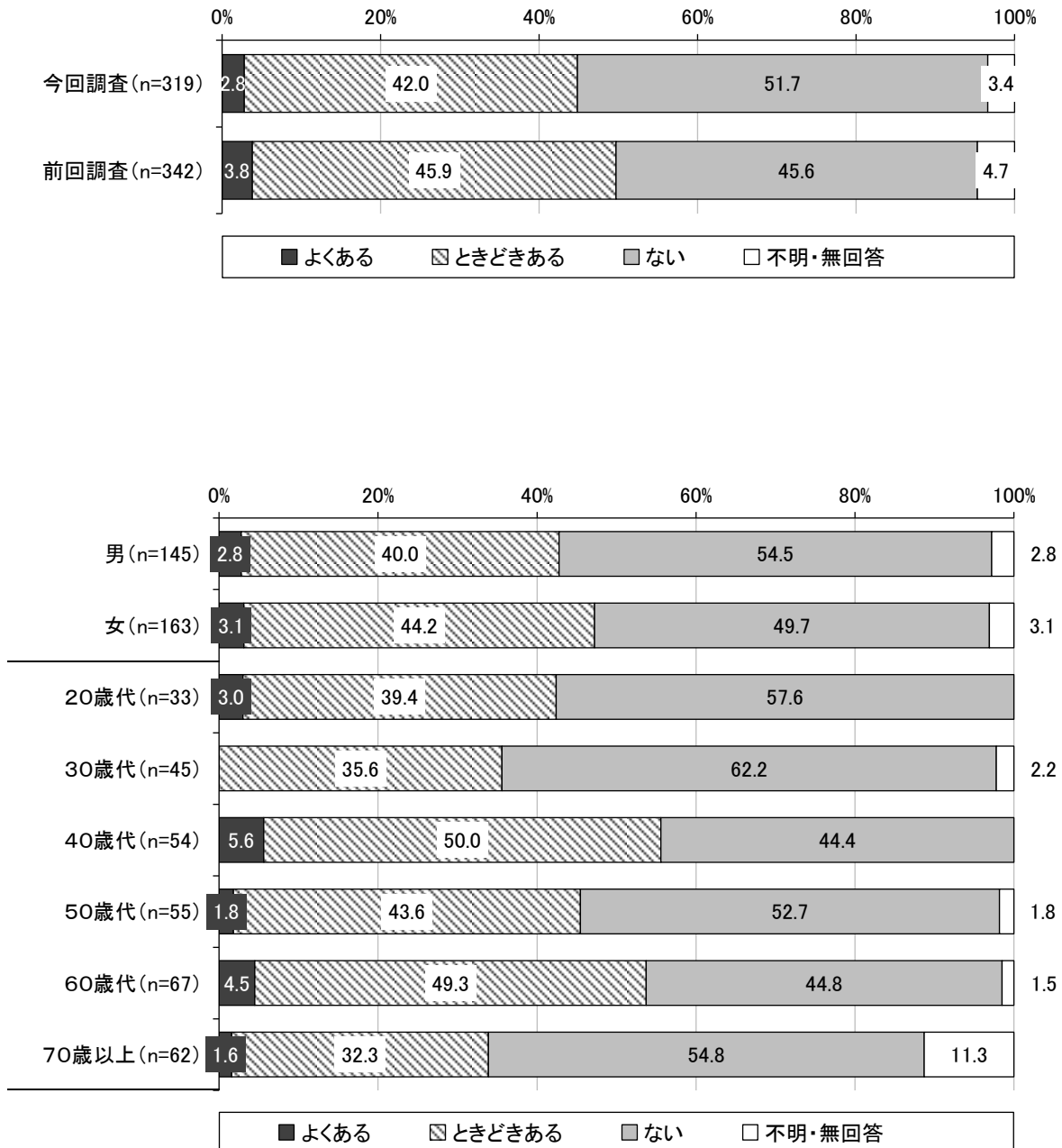


問 18 あなたの家庭では、人権にかかわることについて話すことがありますか。

全体としては、「ない」が51.7%と最も高くなっており、前回調査と比べ「よくある」「ときどきある」を合わせた『ある』が低くなっている。

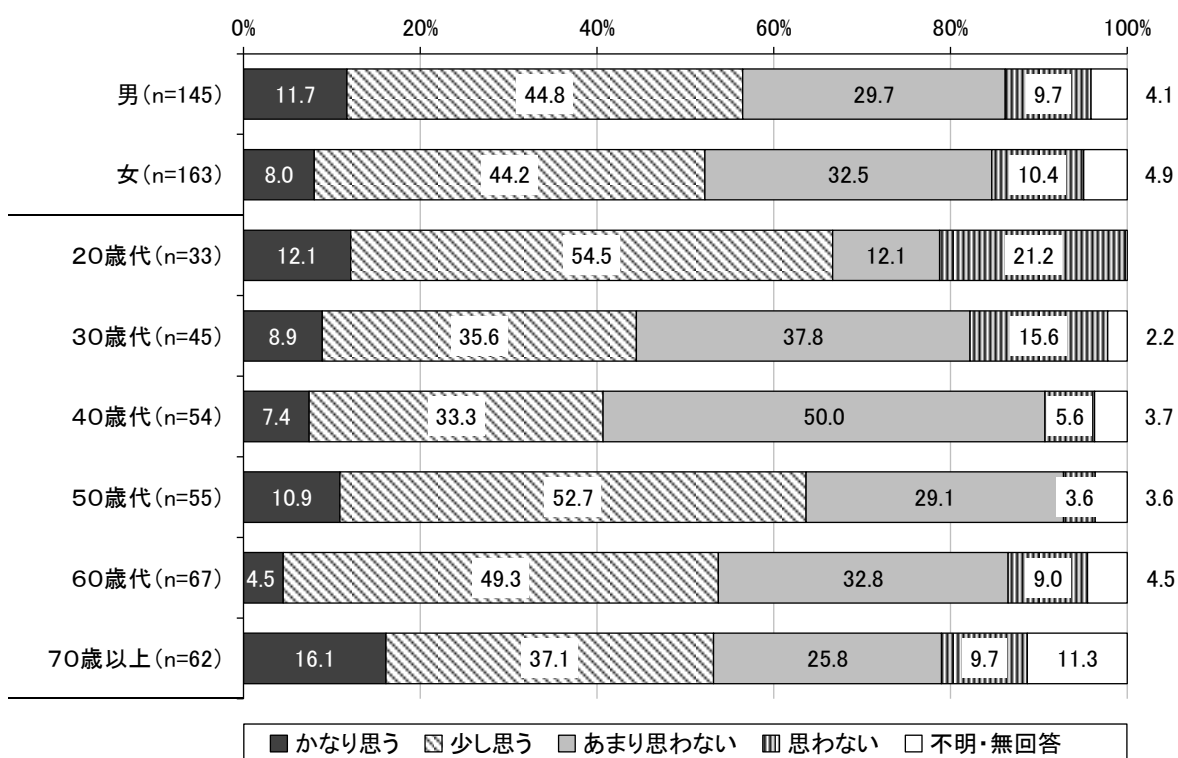
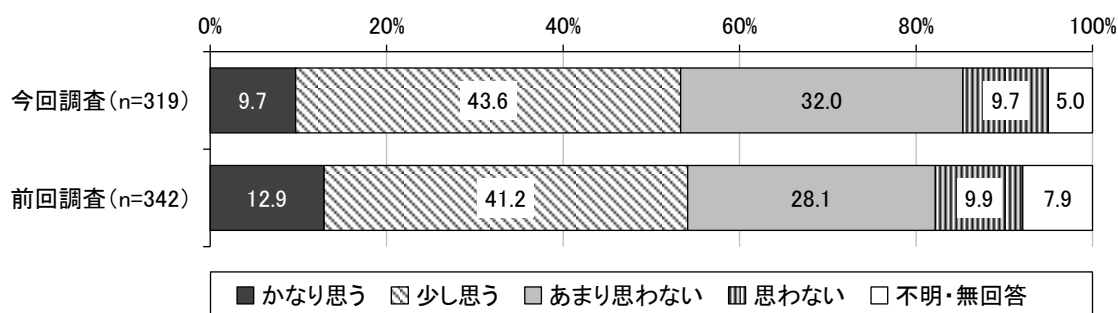
性別にみると、『ある』は女性が男性よりも4.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ない」の割合が30歳代で62.2%と他と比べて高くなっている。



問 19 今の美浜町は、人権が尊重されている町だと思いますか。

全体としては、「かなり思う」「少し思う」を合わせた『思う』が 53.3%で、「あまり思わない」「思わない」を合わせた『思わない』の 41.7%を高くっており、前回調査と比べて大きな差はみられない。
性別にみると、『思う』は男性が女性よりも 4.3 ポイント上回っている。
年齢別にみると、『思わない』の割合が 30 歳代と 40 歳代で 5 割以上と高くなっている。



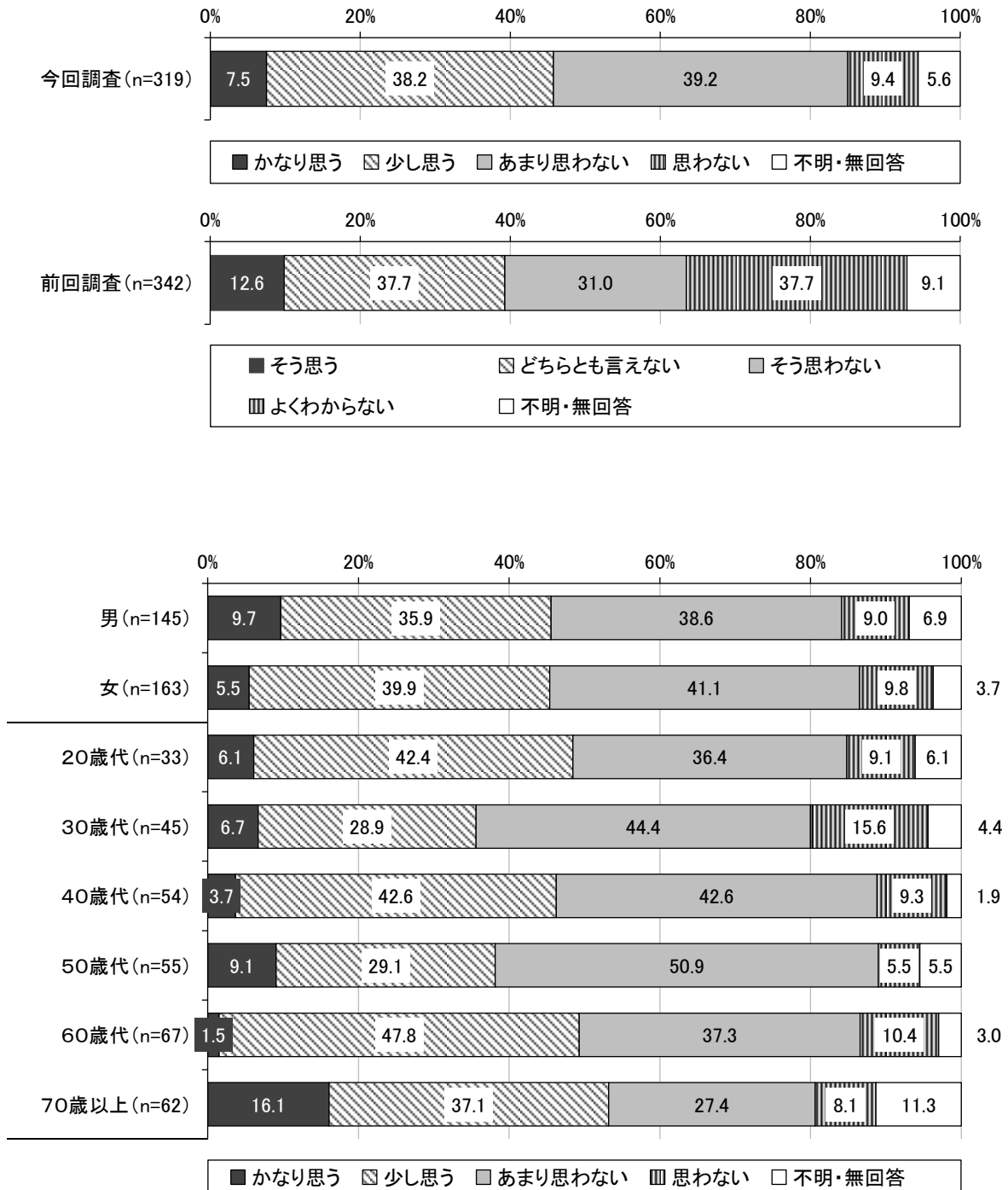
問 20 町民一人ひとりの人権意識は 10 年前と比べて高くなったと思いますか。

全体としては、「あまり思わない」「思わない」を合わせた『思わない』が 48.6%と「かなり思う」「少し思う」を合わせた『思う』の 45.7%を上回っている。

性別にみると、「かなり思う」は男性が女性よりも 4.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「かなり思う」の割合が 70 歳以上で 16.1%と他と比べて高くなっている。

※今回調査では、選択肢を「かなり思う」「少し思う」「あまり思わない」「思わない」に変更

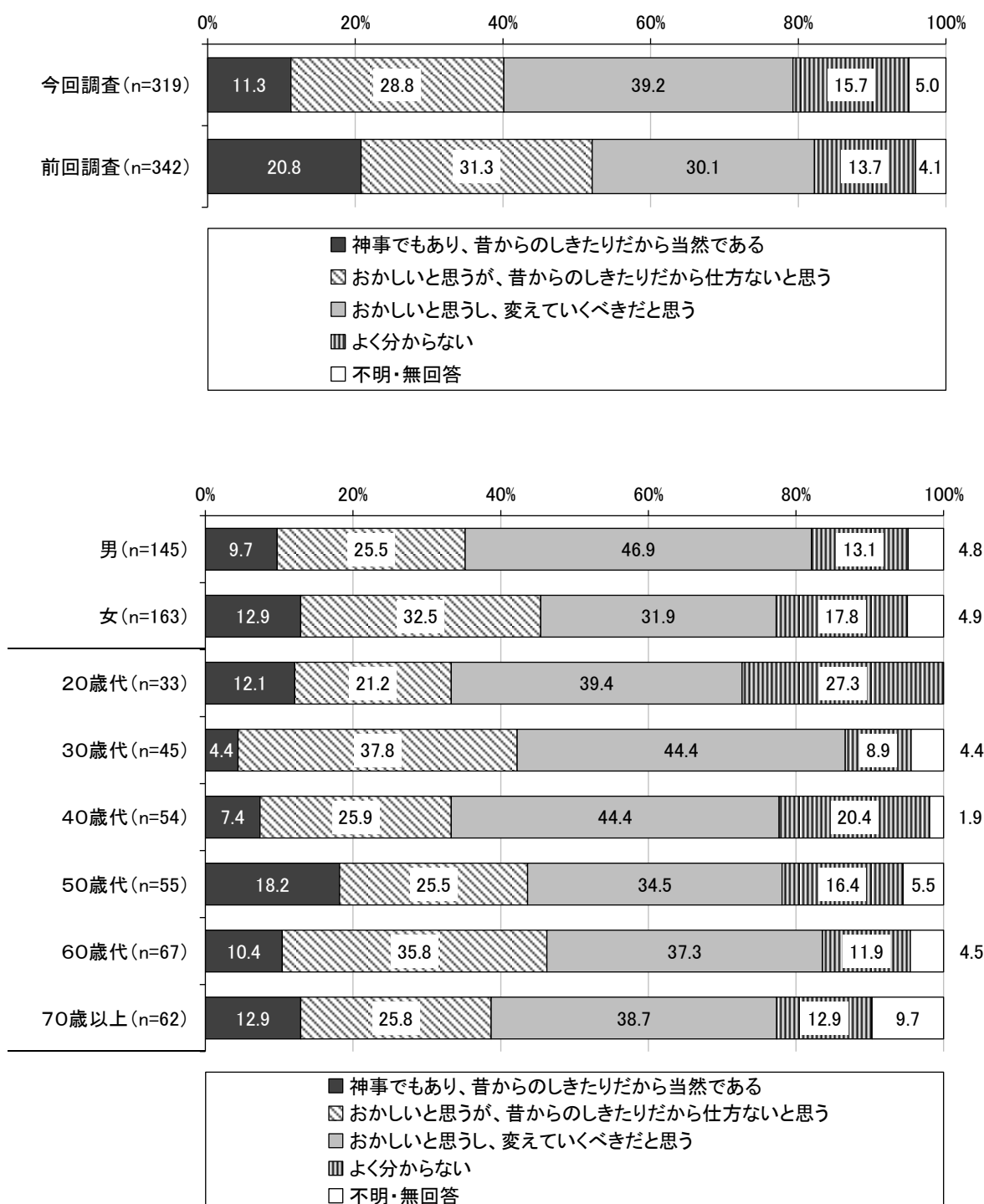


問 21 地域の伝統行事(村行事)・しきたり等の中で、女性が排除される場合があることについて、
どう思いますか。

全体としては、「おかしいと思うし、変えていくべきだと思う」が 39.2%と最も高く、前回調査と比べ9.1ポイント高くなっている。

性別にみると、「おかしいと思うし、変えていくべきだと思う」は男性が女性よりも 15.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「おかしいと思うし、変えていくべきだと思う」の割合が30歳代と40歳代で44.4%と他と比べて高くなっている。



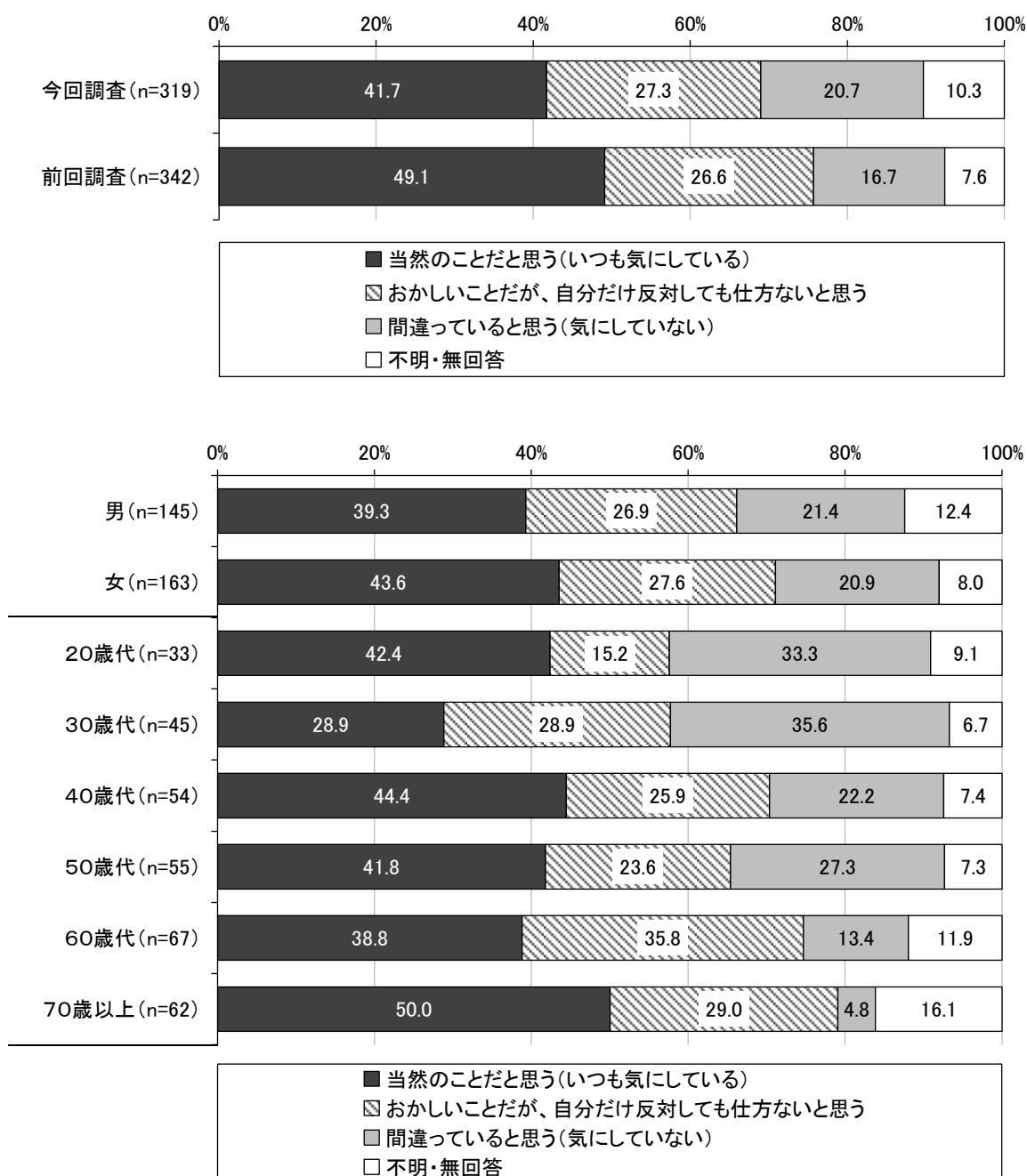
問 22 日本にはいろいろな風習がありますが、下にあげた風習についてあなたの考えに近いものを、①～④までのそれぞれについて、「当然のことだと思う（いつも気にしている）」「おかしいことだが、自分だけ反対しても仕方ないと思う」「間違っていると思う（気にしていない）」から選んでください。

①「友引」の日に、葬式をしてはいけないという風習

全体としては、「当然のことだと思う（いつも気にしている）」が41.7%と最も高いが、前回調査と比べ7.4ポイント低くなっている。

性別にみると、「当然のことだと思う（いつも気にしている）」は女性が男性よりも4.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、特に70歳以上において「当然のことだと思う（いつも気にしている）」の割合が高くなっている。

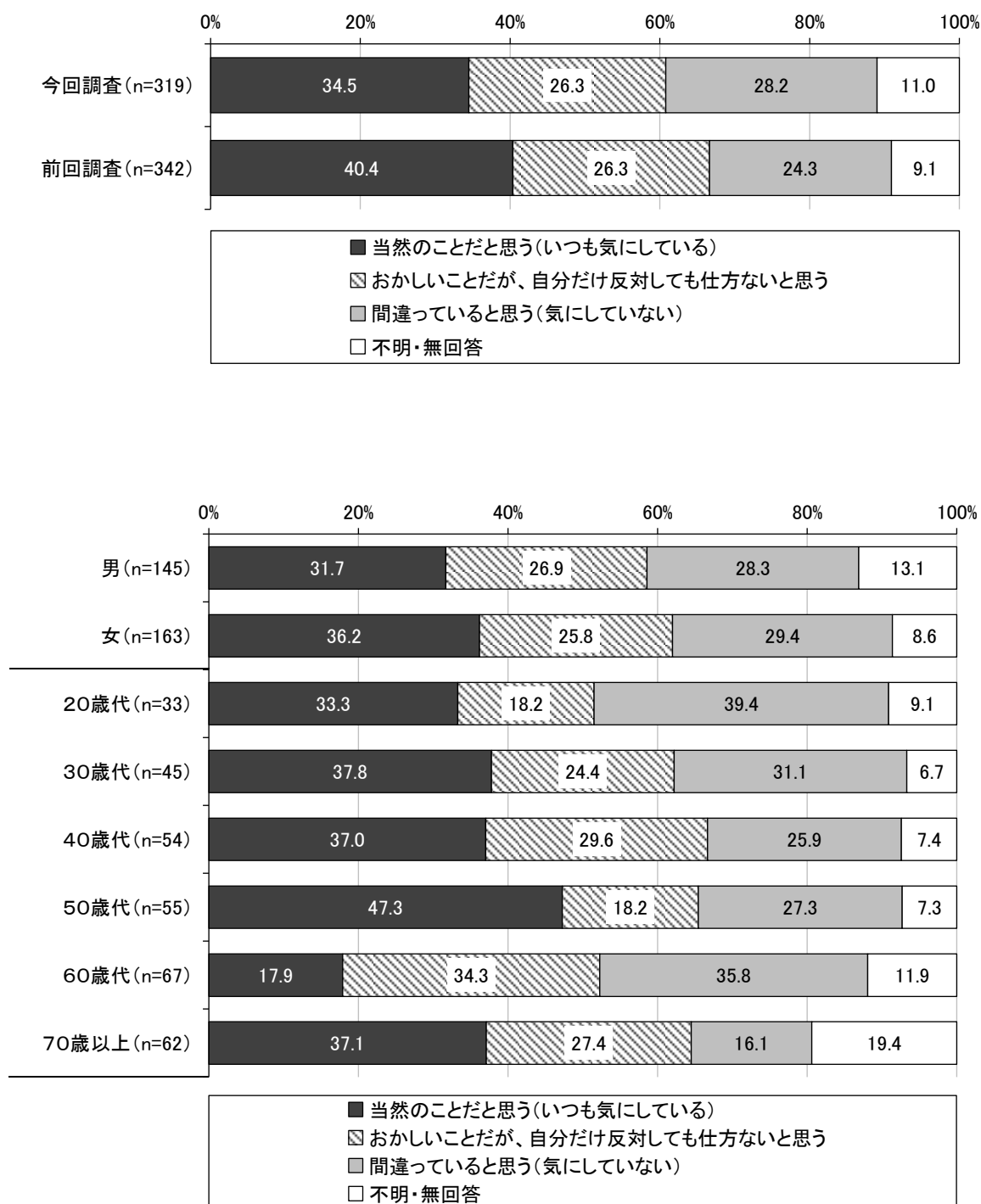


②結婚式は「大安」の日がよいという風習

全体としては、「当然のことだと思う（いつも気にしている）」が34.5%と最も高いが、前回調査と比べ5.9ポイント低くなっている。

性別にみると、「当然のことだと思う（いつも気にしている）」は女性が男性よりも4.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「間違っていると思う（気にしていない）」の割合が20歳代と60歳代で他と比べて高くなっている。

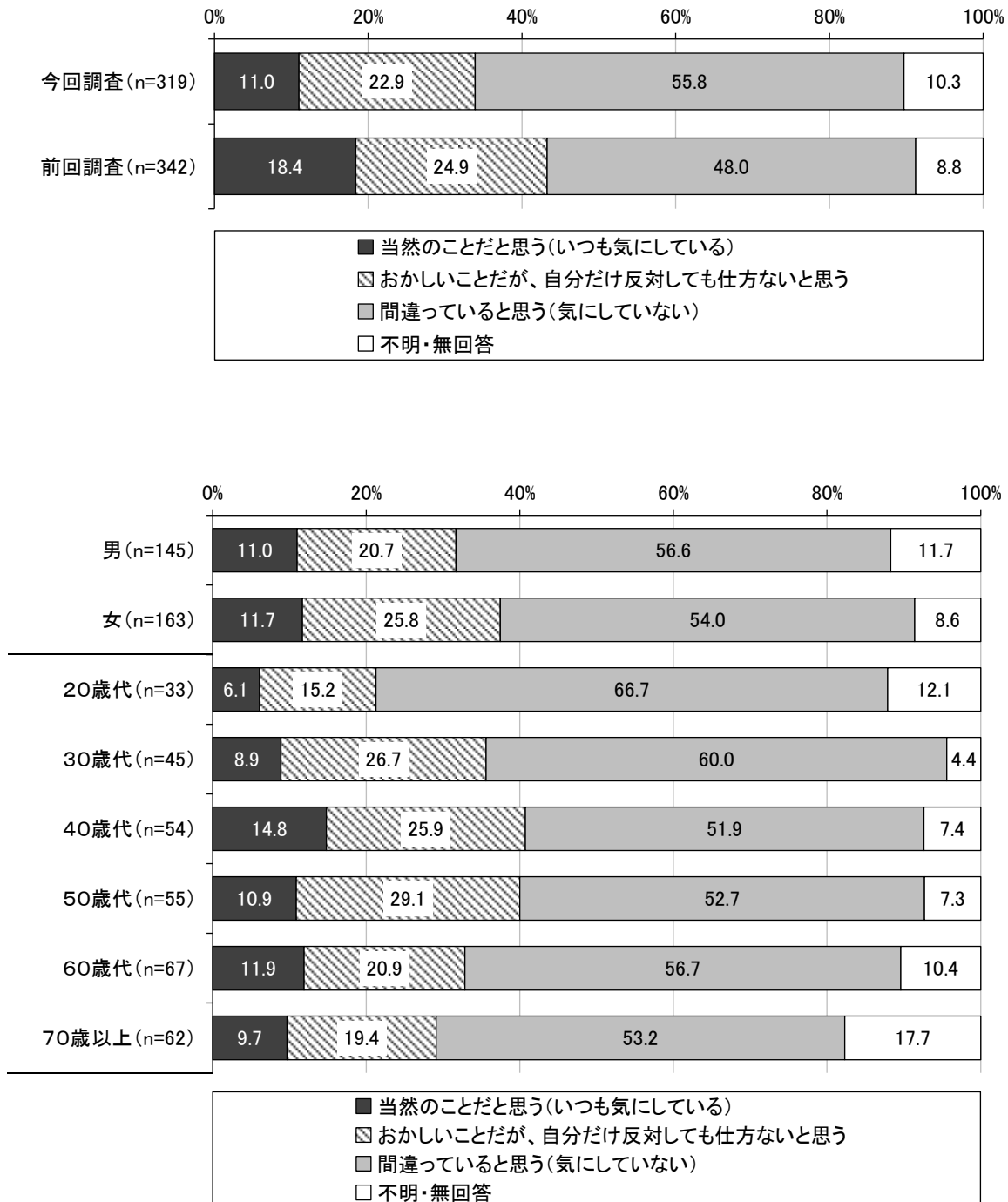


③結婚相手を決めるときに、家柄とか血筋を問題にする風習

全体としては、「間違っていると思う（気にしていない）」が55.8%と最も高く、前回調査と比べ7.8ポイント高くなっている。

性別にみると、「おかしいことだが、自分だけ反対しても仕方ないと思う」は女性が男性よりも5.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「間違っていると思う（気にしていない）」の割合が全ての年代で高くなっていることがわかる。

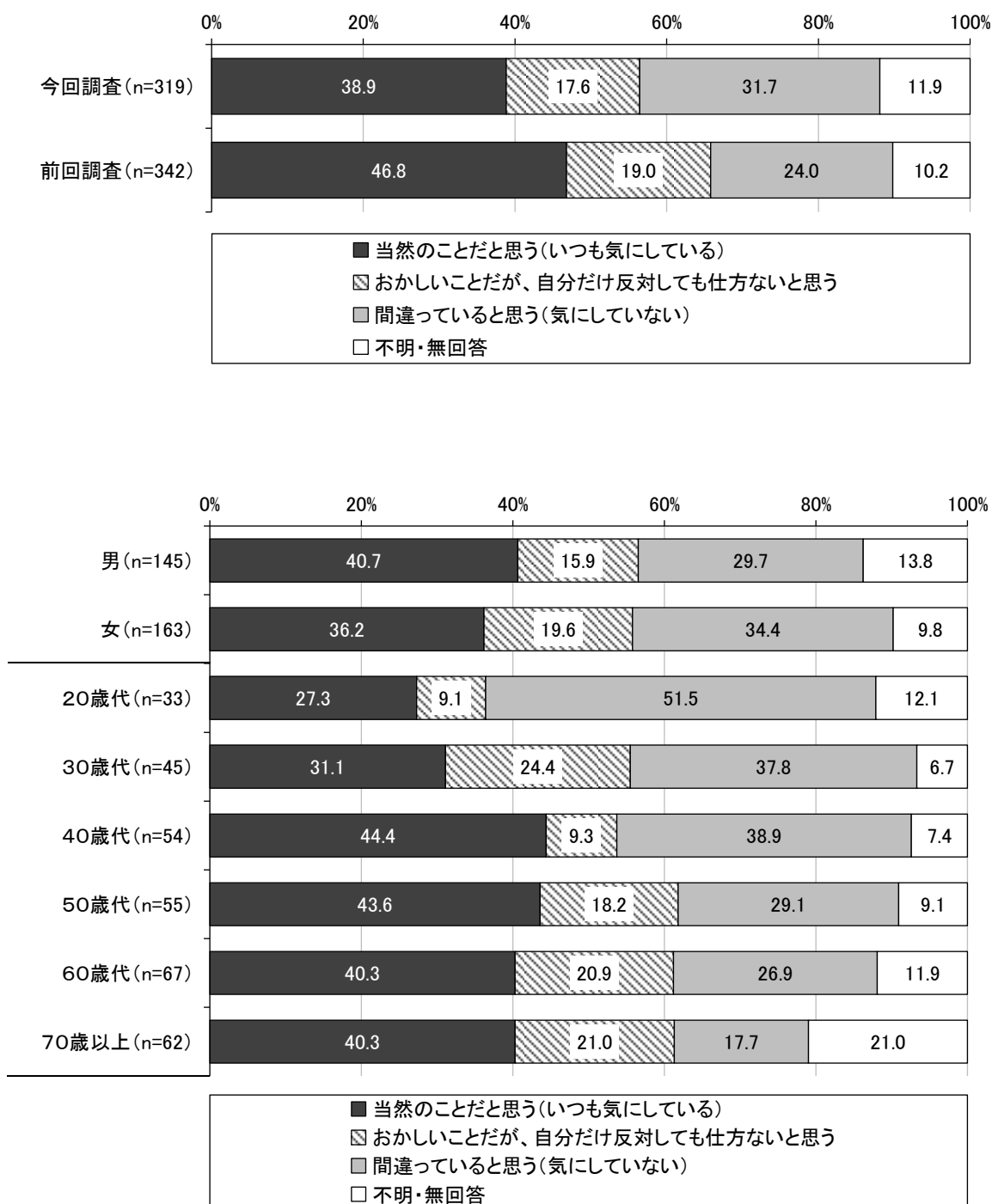


④結婚式場で、「〇〇家、〇〇家結婚披露宴」といった掲示をする風習

全体としては、「当然のことだと思う(いつも気にしている)」が38.9%と最も高いが、前回調査と比べ7.9ポイント低くなっている。

性別にみると、「間違っていると思う(気にしていない)」は女性が男性よりも4.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「間違っていると思う(気にしていない)」が若い世代ほど高い傾向にあることがわかる。

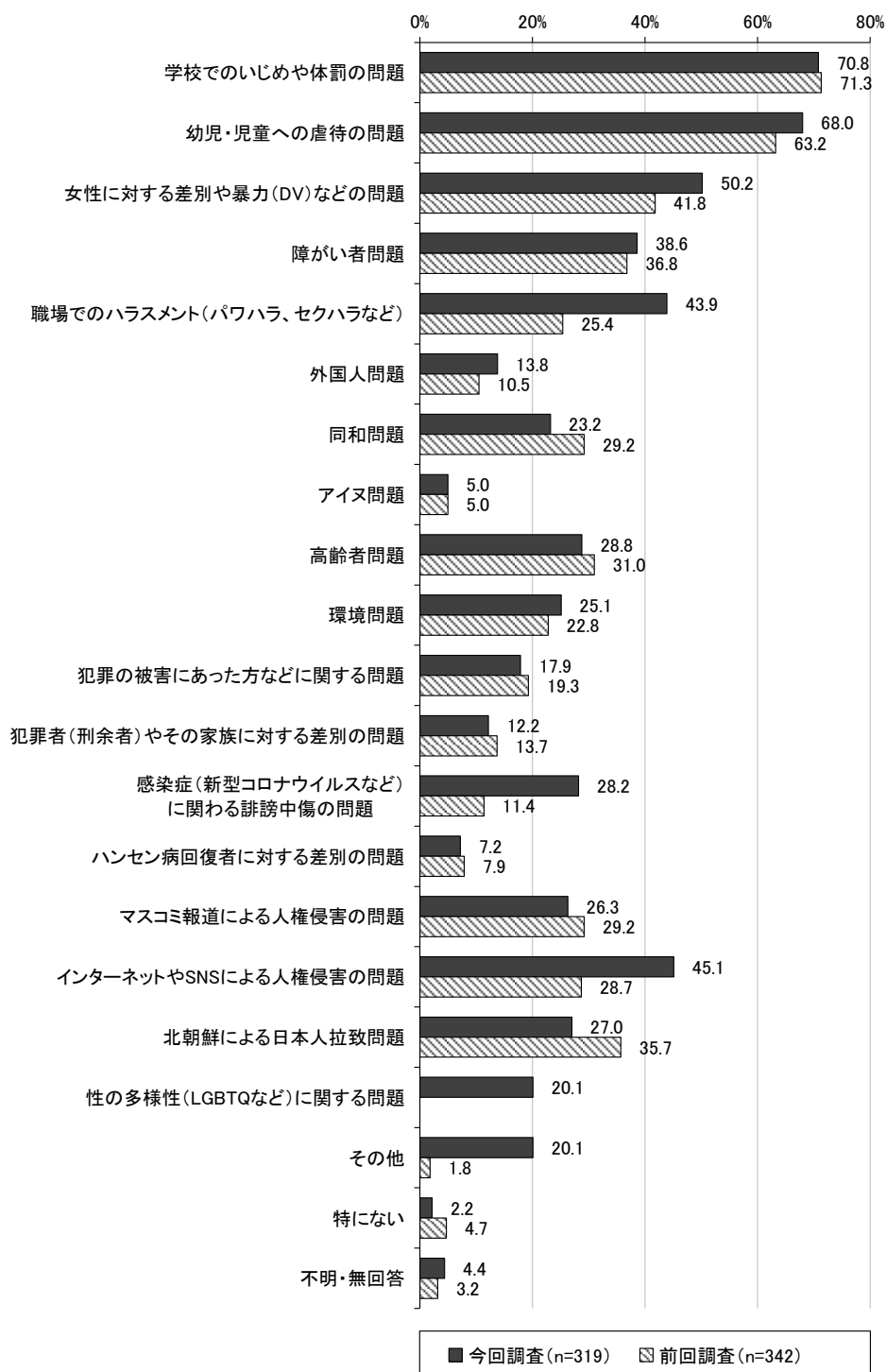


問 23 日本の社会には基本的人権に関わるいろいろな問題がありますが、あなたが関心を持っているものは何ですか。(複数回答可)

全体としては、「学校でのいじめや体罰の問題」が70.8%と最も高く、次いで「幼児・児童への虐待の問題」が68.0%、「女性に対する差別や暴力(DV)などの問題」が50.2%となっている。前回調査と比べると「職場でのハラスメント(パワハラ、セクハラなど)」「感染症(新型コロナウイルスなど)に関わる誹謗中傷の問題」「インターネットやSNSによる人権侵害の問題」が大きく増加している。

性別にみると、女性は「幼児・児童への虐待の問題」が74.2%と最も高くなっている。

年齢別にみると、前回調査と比べて「職場でのハラスメント(パワハラ、セクハラなど)」が50歳代で28.8ポイント高くなっている。



■問 23×性別・年代別クロス（今回調査）

単位：%		学校でのいじめや体罰の問題	幼児・児童への虐待の問題	女性に対する差別や暴力（DV）などの問題	障がい者問題	職場でのハラ、セクハラなど（パワハラ、セクハラなど）	外国人問題	同和問題	アイヌ問題	高齢者問題	環境問題	犯罪の被害にあった方などに
性別	男(n=145)	69.7	60.0	42.8	33.1	40.0	11.0	24.8	6.2	33.8	25.5	18.6
	女(n=163)	69.9	74.2	56.4	41.1	45.4	14.7	21.5	3.7	23.9	24.5	16.0
年齢別	20歳代(n=33)	75.8	63.6	54.5	33.3	54.5	9.1	9.1	3.0	12.1	9.1	21.2
	30歳代(n=45)	68.9	68.9	55.6	44.4	53.3	17.8	15.6	4.4	26.7	24.4	13.3
	40歳代(n=54)	79.6	75.9	57.4	35.2	55.6	27.8	33.3	5.6	33.3	38.9	25.9
	50歳代(n=55)	69.1	69.1	40.0	34.5	49.1	10.9	25.5	7.3	27.3	21.8	16.4
	60歳代(n=67)	73.1	74.6	52.2	46.3	35.8	13.4	29.9	7.5	31.3	29.9	14.9
	70歳以上(n=62)	61.3	54.8	43.5	35.5	25.8	3.2	17.7	0.0	33.9	19.4	16.1

単位：%		家族に対する刑罰差別の問題	犯罪者（刑罰差別の問題）	中傷の問題※1	感染症（新型コロナウイルス）に関する誹り	ハンセン病回復者に対する差別の問題	マスコミ報道による人権侵害の問題	インターネットやSNSによる人権侵害の問題	北朝鮮による日本人拉致問題	性の多様性（LGBTQ）に関する問題※2	その他	特になし	不明・無回答
性別	男(n=145)	11.0	24.1	6.9	24.1	42.8	29.0	14.5	2.1	4.1	5.5		
	女(n=163)	12.3	30.1	7.4	26.4	46.0	23.9	25.2	2.5	3.1	3.7		
年齢別	20歳代(n=33)	12.1	24.2	3.0	15.2	36.4	9.1	30.3	0.0	6.1	0.0		
	30歳代(n=45)	13.3	33.3	8.9	26.7	44.4	4.4	22.2	4.4	4.4	4.4		
	40歳代(n=54)	22.2	35.2	7.4	40.7	63.0	24.1	37.0	0.0	1.9	0.0		
	50歳代(n=55)	5.5	29.1	7.3	23.6	52.7	27.3	25.5	3.6	3.6	1.8		
	60歳代(n=67)	11.9	26.9	7.5	25.4	41.8	41.8	10.4	3.0	3.0	4.5		
	70歳以上(n=62)	8.1	21.0	6.5	22.6	30.6	38.7	3.2	1.6	3.2	12.9		

※1：前回調査から表記を変更した項目

※2：今回調査から新たに追加した項目

■問 23×年代別クロス（平成 24 年）

単位：%		学校でのいじめや体罰の問題	幼児・児童への虐待の問題	女性に対する差別や暴力（DV）などの問題	障がい者問題	職場でのハラ、セクハラなど（パワハラ、セクハラなど）	外国人問題	同和問題	アイヌ問題	高齢者問題	環境問題
年齢別	20歳代(n=36)	75.0	55.6	44.4	41.7	41.7	19.4	19.4	5.6	36.1	30.6
	30歳代(n=45)	75.6	66.7	37.8	42.2	37.8	11.1	26.7	4.4	20.0	13.3
	40歳代(n=56)	80.4	67.9	57.1	37.5	32.1	8.9	33.9	1.8	23.2	14.3
	50歳代(n=64)	75.0	75.0	50.0	39.1	20.3	9.4	35.9	4.7	32.8	25.0
	60歳代(n=76)	64.5	63.2	34.2	36.8	13.2	9.2	25.0	5.3	34.2	27.6
	70歳以上(n=65)	63.1	49.2	30.8	27.7	21.5	9.2	30.8	7.7	36.9	24.6

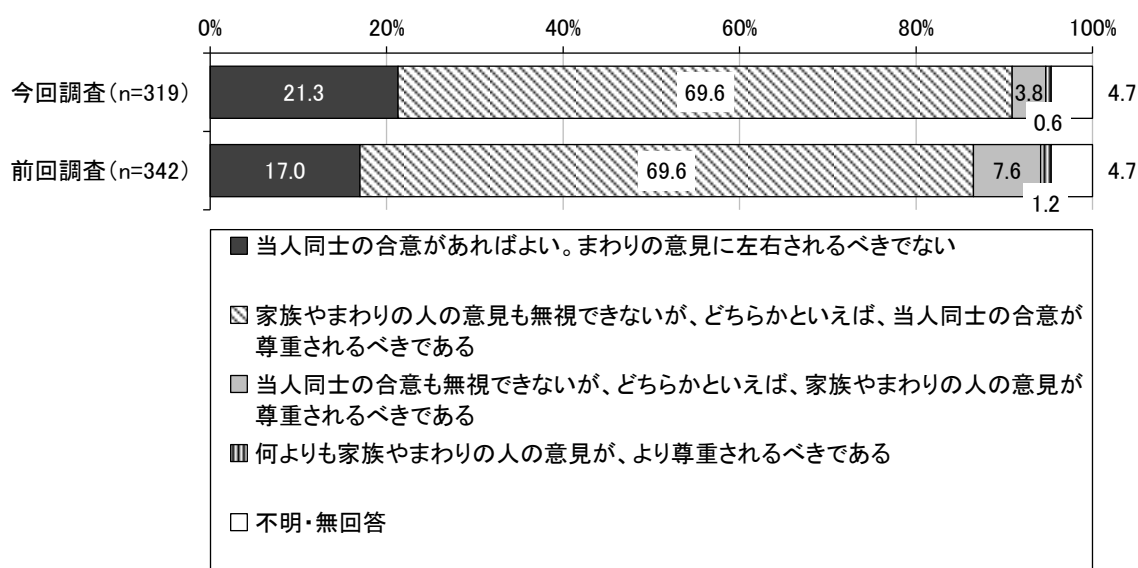
単位：%		犯罪の被害にあった方などに 関する問題	犯罪者（刑余者）やその家族 に対する差別の問題	エイズ患者・感染症に対する 差別の問題	ハンセン病回復者に対する差 別の問題	マスコミ報道による人権侵害 の問題	インターネットやSNSによ る人権侵害の問題	北朝鮮による日本人拉致問題	その他	特にな い	不明・無回 答
年齢別	20歳代(n=36)	13.9	16.7	13.9	8.3	38.9	27.8	19.4	2.8	8.3	2.8
	30歳代(n=45)	31.1	17.8	15.6	4.4	31.3	35.6	33.3	0.0	0.0	4.4
	40歳代(n=56)	21.4	12.5	12.5	10.7	33.9	46.4	30.4	0.0	0.0	1.8
	50歳代(n=64)	20.3	15.6	10.9	9.4	34.4	32.8	35.9	3.1	0.0	0.0
	60歳代(n=76)	17.1	7.9	6.6	5.3	23.7	22.4	34.2	1.3	6.6	3.9
	70歳以上(n=65)	13.8	15.4	12.3	9.2	20.0	12.3	52.3	3.1	12.3	6.2

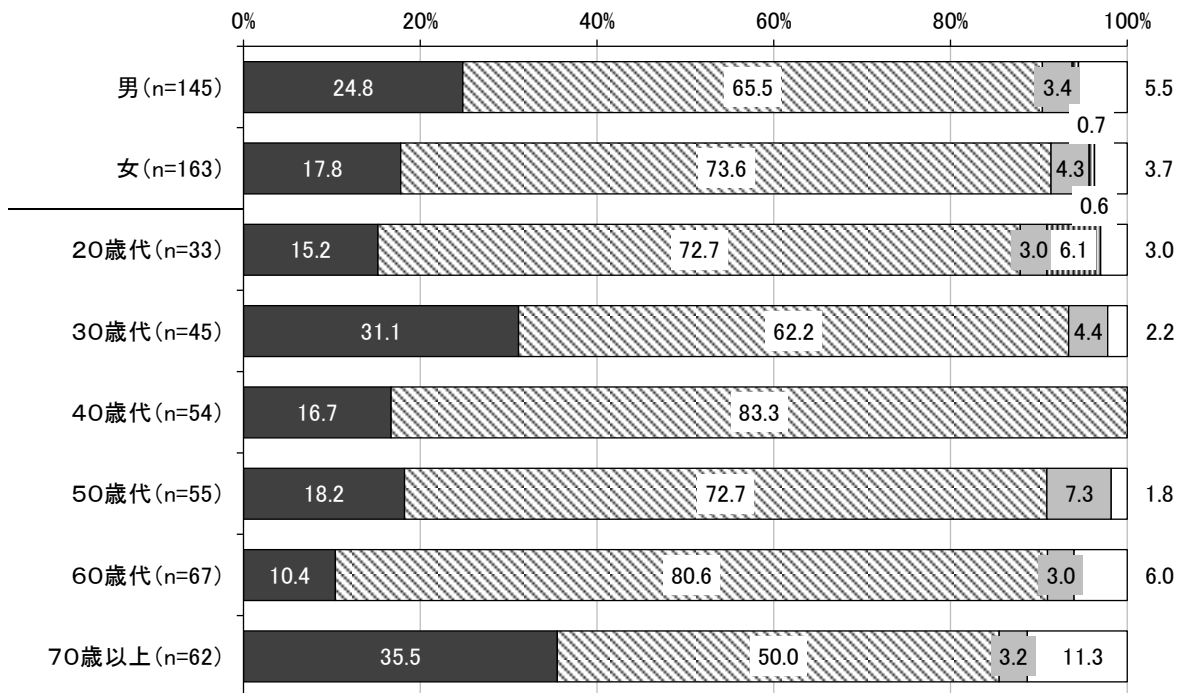
問 24 結婚は当人同士の合意により成立することになっています。しかし、現実には、人権に関する問題でまわりの人たちが反対することがあります。このことについて、あなたはどのように考えますか。

全体としては、「家族やまわりの人の意見も無視できないが、どちらかといえば、当人同士の合意が尊重されるべきである」が 69.6%と最も高くなっており、前回調査と比べると「当人同士の合意があればよい。まわりの人の意見に左右されるべきではない」が 4.3 ポイント高くなっている。

性別にみると、「家族やまわりの人の意見も無視できないが、どちらかといえば、当人同士の合意が尊重されるべきである」は女性が男性よりも 8.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「家族やまわりの人の意見も無視できないが、どちらかといえば、当人同士の合意が尊重されるべきである」の割合が 40 歳代と 60 歳代で 8 割以上と他と比べて高くなっている。





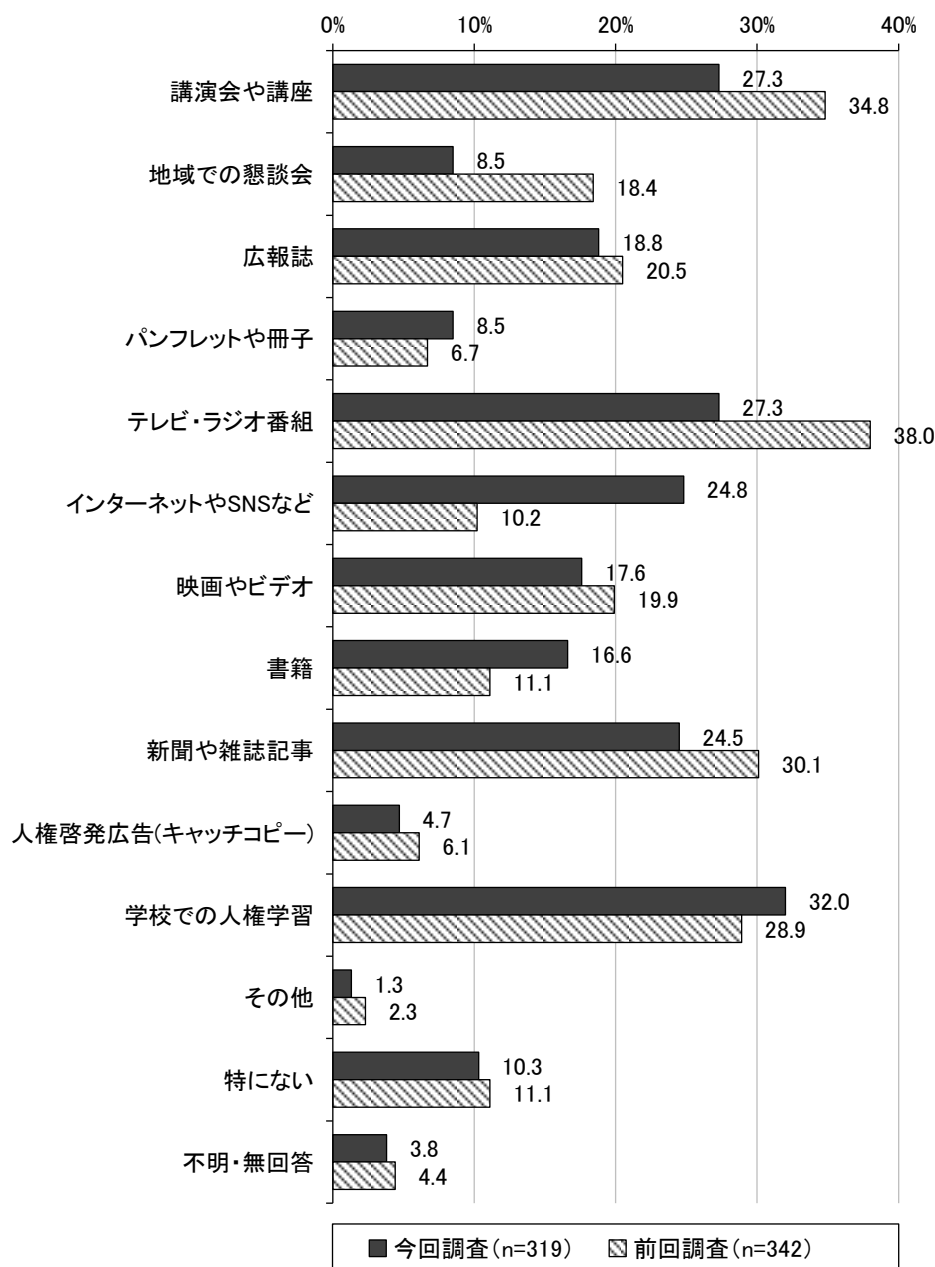
- 当人同士の合意があればよい。まわりの意見に左右されるべきでない
- ▣ 家族やまわりの人の意見も無視できないが、どちらかといえば、当人同士の合意が尊重されるべきである
- ▢ 当人同士の合意も無視できないが、どちらかといえば、家族やまわりの人の意見が尊重されるべきである
- ▣ 何よりも家族やまわりの人の意見が、より尊重されるべきである
- 不明・無回答

問 25 あなたが、人権問題について関心を持ったり理解を深めたりするに当たって、どのようなものが役立ったと考えますか。(複数回答可)

全体としては、「学校での人権学習」が 32.0%と最も高くなっており、前回調査で最も高かった「テレビ・ラジオ番組」は 10.7 ポイント低下している。

性別にみると、「テレビ・ラジオ番組」は女性が男性よりも 16.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20 歳代、30 歳代では「インターネットや SNS など」、40 歳代では「学校での人権学習」、50 歳代では「講演会や講座」が他と比べて高くなっている。



■問 25×性別・年代別クロス（今回調査）

単位：%		講演会や講座	地域での懇談会	広報誌	パンフレットや冊子	テレビ・ラジオ番組	インターネットやSNSなど	映画やビデオ	書籍	新聞や雑誌記事	人権啓発広告（キャッチコピー）	学校での人権学習	その他	特にない	不明・無回答
性別	男(n=145)	28.3	10.3	18.6	8.3	17.9	24.1	20.0	14.5	20.7	3.4	26.2	1.4	13.1	2.8
	女(n=163)	27.0	6.1	19.0	8.6	34.4	25.8	14.7	19.0	27.6	4.9	36.2	1.2	8.0	4.3
年齢別	20歳代(n=33)	9.1	3.0	6.1	0.0	24.2	48.5	18.2	15.2	12.1	3.0	33.3	0.0	24.2	0.0
	30歳代(n=45)	28.9	0.0	20.0	13.3	37.8	40.0	22.2	20.0	15.6	4.4	28.9	0.0	8.9	0.0
	40歳代(n=54)	29.6	9.3	5.6	11.1	33.3	37.0	25.9	13.0	25.9	7.4	48.1	1.9	9.3	1.9
	50歳代(n=55)	47.3	5.5	20.0	5.5	29.1	23.6	10.9	18.2	38.2	1.8	30.9	0.0	5.5	1.8
	60歳代(n=67)	25.4	10.4	25.4	9.0	23.9	11.9	16.4	22.4	25.4	4.5	23.9	3.0	9.0	4.5
	70歳以上(n=62)	19.4	17.7	27.4	9.7	17.7	4.8	14.5	11.3	24.2	6.5	29.0	1.6	11.3	9.7

■問 25×年代別クロス（前回調査）

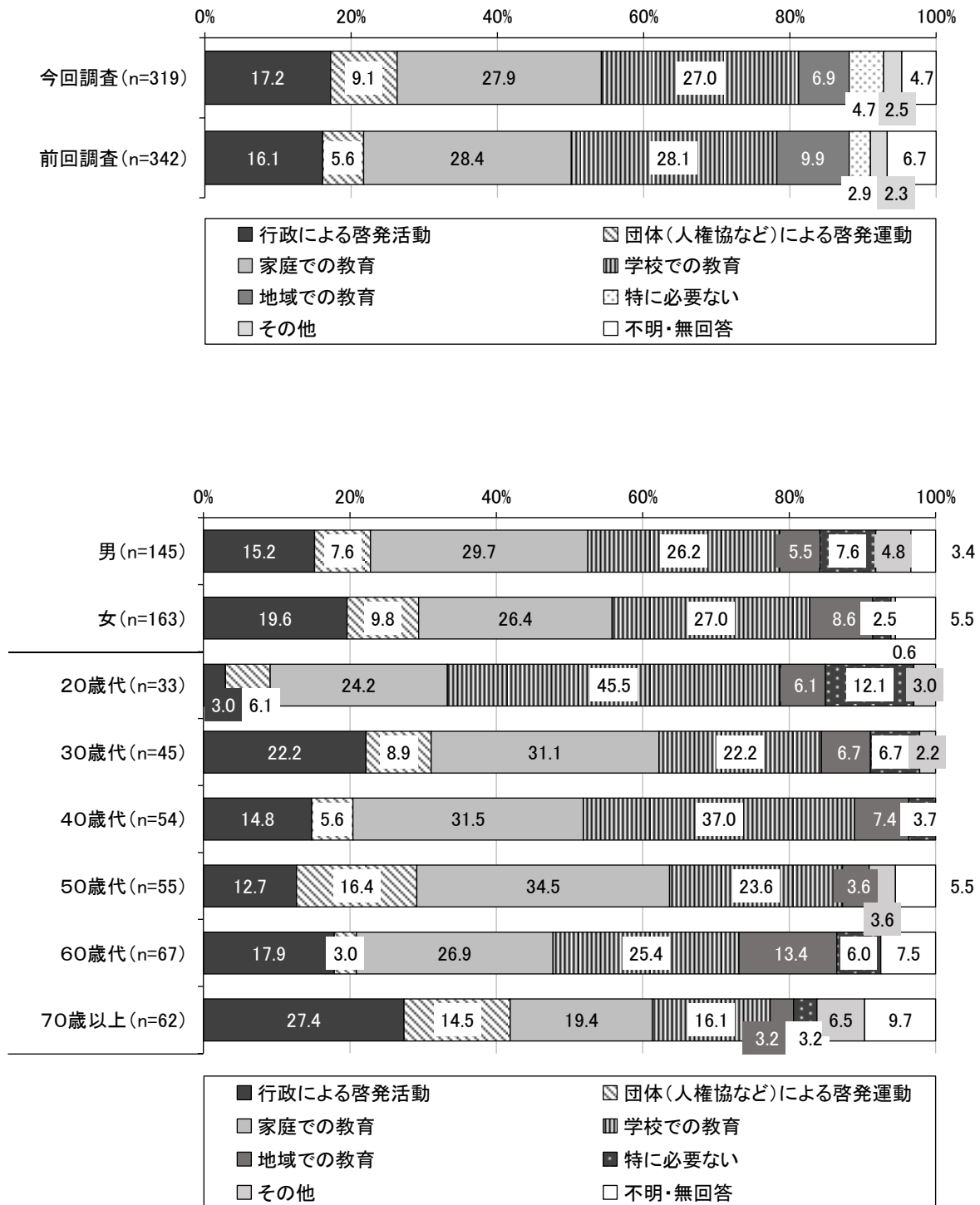
単位：%		講演会や講座	地域での懇談会	広報誌	パンフレットや冊子	テレビ・ラジオ番組	インターネットやSNSなど	映画やビデオ	書籍	新聞や雑誌記事	人権啓発広告（キャッチコピー）	学校での人権学習	その他	特にない	不明・無回答
年齢別	20歳代(n=36)	19.4	8.3	13.9	5.6	52.8	19.4	19.4	8.3	25.0	2.8	38.9	0.0	13.9	2.8
	30歳代(n=45)	24.4	13.3	11.1	8.9	35.6	24.4	20.0	6.7	28.9	4.4	33.3	4.4	6.7	4.4
	40歳代(n=56)	39.3	17.9	12.5	5.4	44.6	23.2	17.9	10.7	32.1	5.4	42.9	3.6	7.1	1.8
	50歳代(n=64)	34.4	15.6	23.4	7.8	45.3	20.3	6.3	15.6	48.4	6.3	23.4	3.1	7.8	0.0
	60歳代(n=76)	44.7	22.4	23.7	3.9	30.3	17.1	2.6	11.8	25.0	10.5	22.4	0.0	13.2	9.2
	70歳以上(n=65)	35.4	26.2	30.8	9.2	27.7	16.9	4.6	10.8	20.0	4.6	21.5	3.1	16.9	6.2

問 26 人権意識を高くしていくには、あなたはどうしたらよいと思いますか。次の中から、最も重要だと思うものを選んでください。

全体としては、「家庭での教育」が27.9%と最も高く、次いで「学校での教育」が27.0%、「行政による啓発活動」が17.2%となっている。

性別にみると、「行政による啓発活動」は女性が男性よりも4.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「学校での教育」の割合が20歳代で45.5%と他と比べて高くなっている。

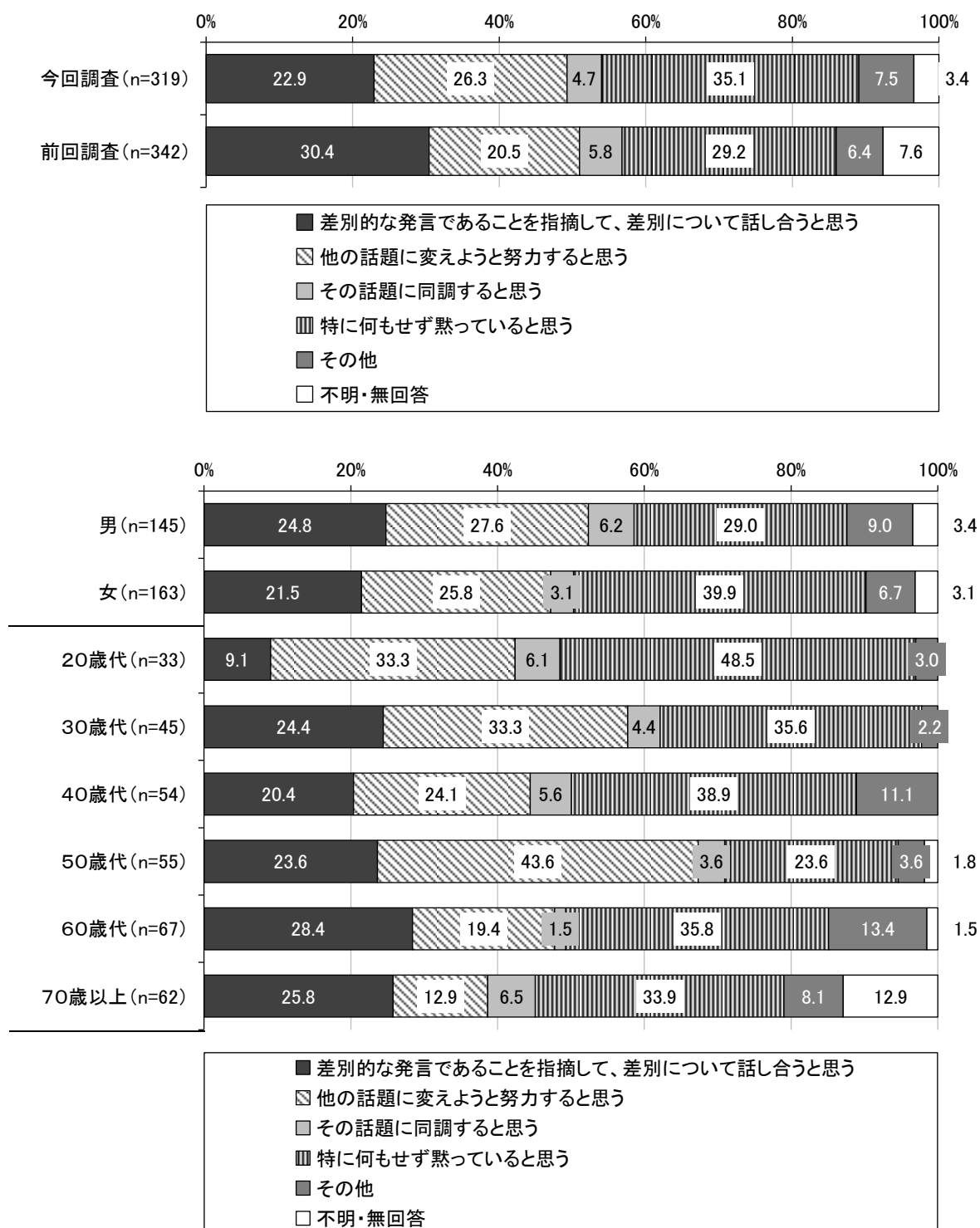


問 27 友達などの親しい人と話をしているとき、旧同和地区の人に対する差別的な発言があった場合、あなたはどうしますか。

全体としては、「特に何もせず黙っていると思う」が 35.1%と最も高く、前回調査と比べ 5.9 ポイント高くなっており、「差別的な発言であることを指摘して、差別について話し合うと思う」が 7.5 ポイント低くなっている。

性別にみると、「特に何もせず黙っていると思う」は女性が男性よりも 10.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「特に何もせず黙っていると思う」が 20 歳代で 48.5 ポイントと他と比べて高くなっている。

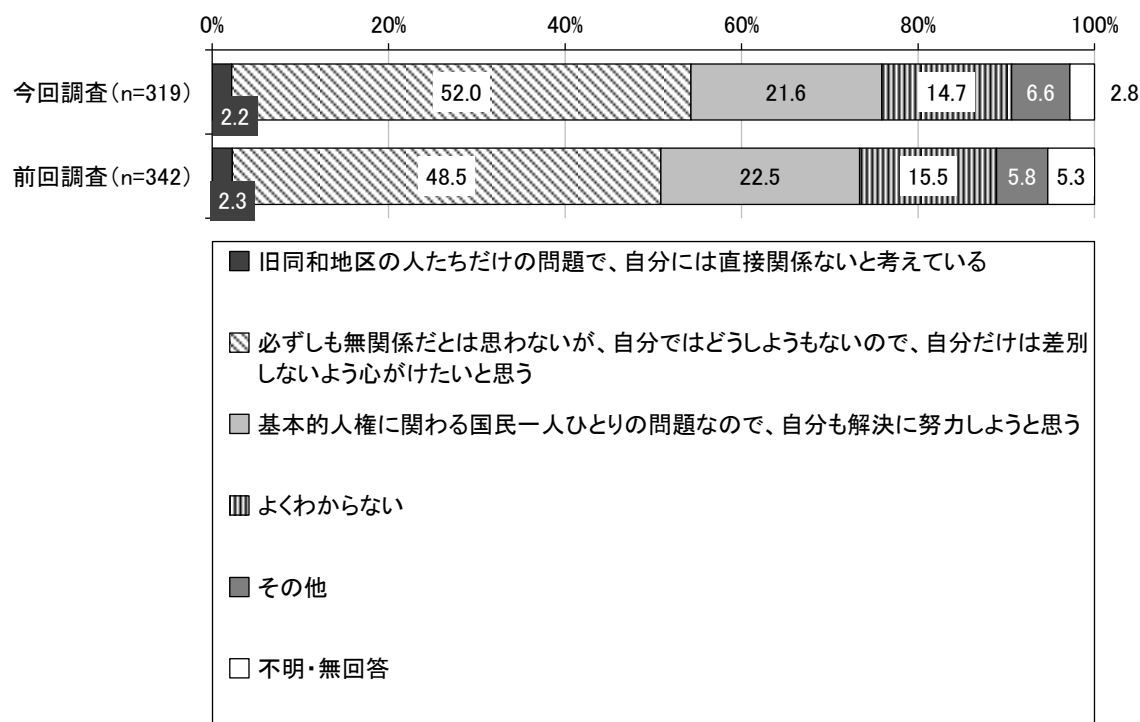


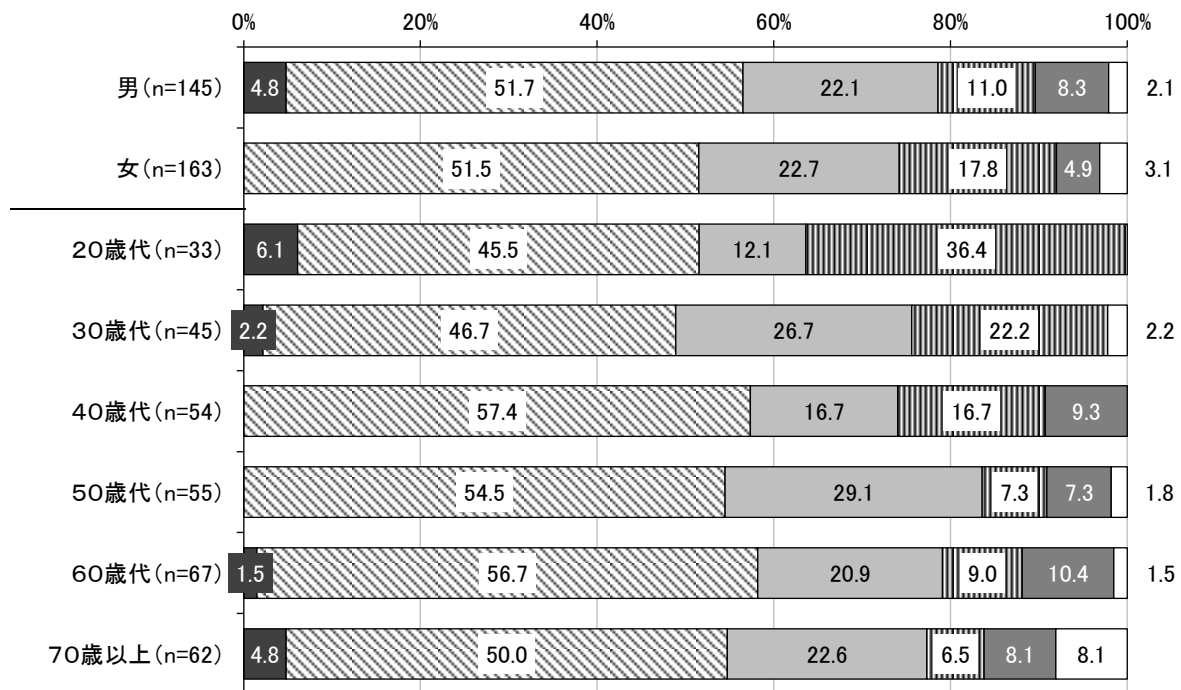
問 28 同和問題の解決に対するあなたの考え方に近いものはどれですか。

全体としては、「必ずしも無関係だとは思わないが、自分ではどうしようもないので、自分だけは差別しないよう心がけたいと思う」が 52.0%と最も高く、前回調査と比べて大きな差はみられない。

性別にみると、「旧同和地区の人たちだけの問題で、自分には直接関係ないと考えている」は男性が 4.8%なのに対し、女性では 0%であった。

年齢別にみると、「旧同和地区の人たちだけの問題で、自分には直接関係ないと考えている」の割合は 40 歳代と 50 歳代で 0%であった。





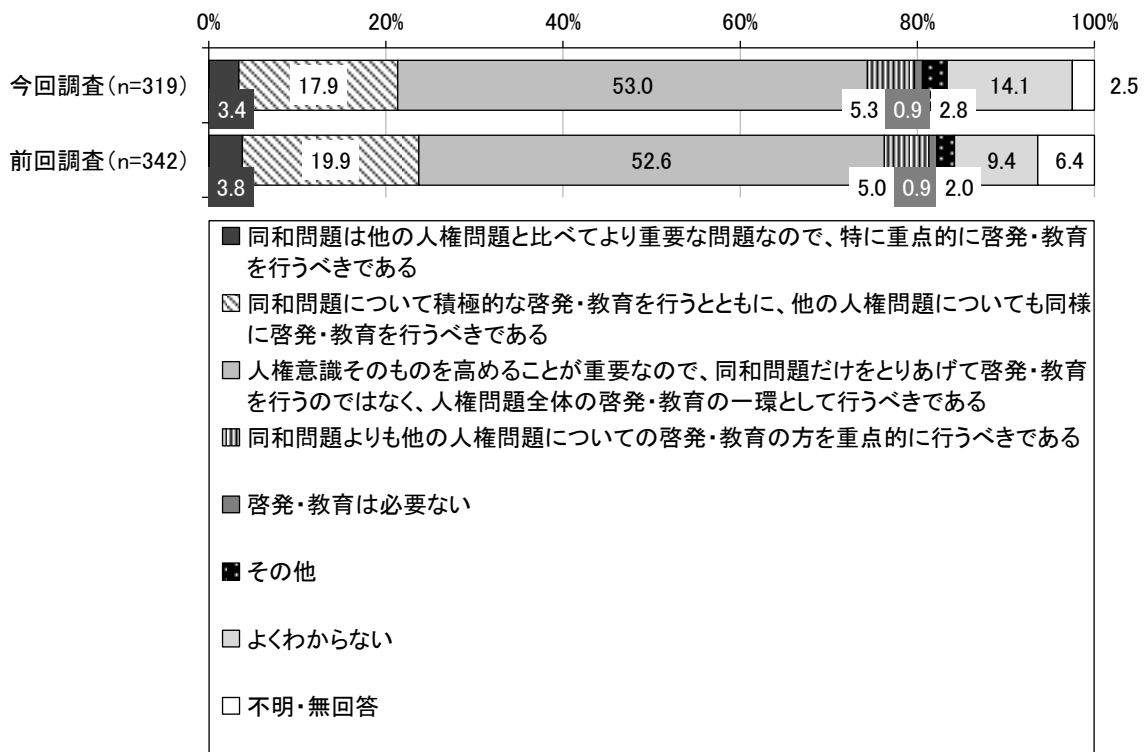
- 旧同和地区の人たちだけの問題で、自分には直接関係ないと考えている
- ▣ 必ずしも無関係だとは思わないが、自分ではどうしようもないので、自分だけは差別しないよう心がけたいと思う
- 基本的な人権に関わる国民一人ひとりの問題なので、自分も解決に努力しようと思う
- ▣ よくわからない
- その他
- 不明・無回答

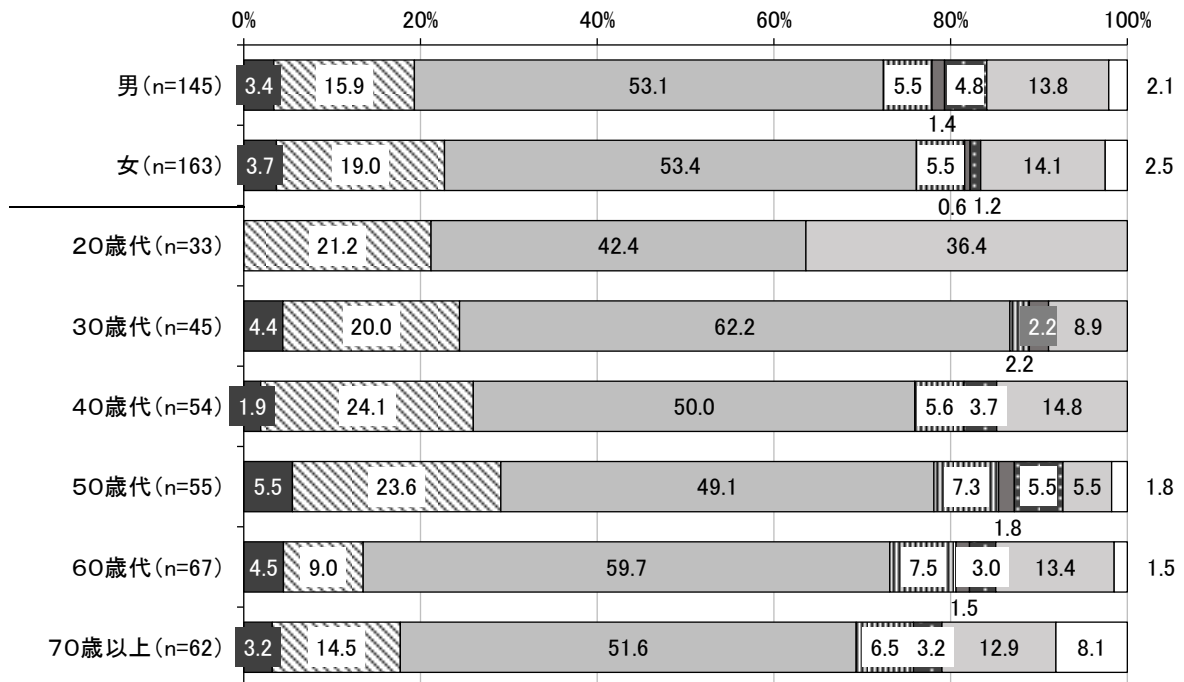
問 29 人権問題には、同和問題のほかにも、子ども、女性、高齢者、障がい者、在日外国人、HIV感染者等の問題があります。今後の同和問題の啓発・教育のあり方について、あなたの考え方に近いものはどれですか。

全体としては、「人権意識そのものを高めることが重要なので、同和問題だけをとりあげて啓発・教育を行うのではなく、人権問題全体の啓発・教育の一環として行うべき」が53.0%と最も高く、前回調査と比べて大きな差はみられない。

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「よくわからない」が20歳代で36.4%と他と比べて高くなっている





- 同和問題は他の人権問題と比べてより重要な問題なので、特に重点的に啓発・教育を行うべきである
- ▣ 同和問題について積極的な啓発・教育を行うとともに、他の人権問題についても同様に啓発・教育を行うべきである
- ▤ 人権意識そのものを高めることが重要なので、同和問題だけをとりあげて啓発・教育を行うのではなく、人権問題全体の啓発・教育の一環として行うべきである
- ▥ 同和問題よりも他の人権問題についての啓発・教育の方を重点的に行うべきである
- 啓発・教育は必要ない
- その他
- よくわからない
- 不明・無回答

Ⅲ 参考資料（調査票）

人権に関する町民意識調査

令和4年7月

調査ご協力をお願い

日頃から美浜町人権尊重啓発協議会（人権協）の取り組みにご協力いただき厚くお礼申し上げます。

人権協では、様々な人権問題の解決・解消に向けて啓発活動などの取り組みを進めているところですが、今後の取り組みの参考とするために、10年前（平成24年）に引き続き「人権協の活動に関して」と「人権問題についての意識」の二つの観点から皆様のお考えを聞かせていただくことになりました。

この調査は、20歳以上の方の中から無作為に800人を選び、アンケートにお答えいただく方法により実施いたします。その一人として、あなたをお願いすることになりましたが、あなたのお名前やご回答の内容が公表されることは決してありません。また、調査目的以外には絶対に使用しませんので、日頃のお考えを率直にお聞かせ下さるようお願いいたします。

お手数をおかけし恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



ご記入に際してのお願い

- 1 アンケートには、封筒の宛名の方ご本人がご回答ください。ご自分でのご記入が困難な方は、ご家族などのご協力によりご回答ください。
- 2 記入後は無記名のまま、同封の返信用封筒に入れて**7月31日（日）**までにポストに投函してください。（切手は不要です）

★調査に関する問い合わせ

美浜町人権尊重啓発協議会（美浜町生涯学習センターなびあす内）

TEL 32-1212

FAX 32-1222

人権協では、ホームページを開設し、各部会での活動紹介や町民人権講座の情報提供、広報誌や啓発資料の公開などを行っております。スマートフォンを使って、右のQRコードからご確認いただけます。

人権協ホームページ



該当する記号 ア)、イ)、・・・を○で囲んでください。(設問22は記号を記入してください。)

【分類項目】

- 1 あなたの年代は ア) 20歳代 イ) 30歳代 ウ) 40歳代
エ) 50歳代 オ) 60歳代 カ) 70歳以上
- 2 あなたの性別は ア) 男 イ) 女 ウ) その他 エ) 回答しない

【人権協の活動に関して】

- 3 あなたは、「人権協」という組織について知っていますか。
ア) 知っている イ) 名前を聞いたことはある ウ) 知らない
- 4 あなたは、これまでに次に例示する人権協の活動や行事等のいずれかに参加したことがありますか。
ア) 参加した イ) 参加していない

<人権協の活動、行事等>

- ①評議員会(総会)
②人権協広報誌「ふれあい」(投稿やクロスワード解答等)
③美浜町生涯学習センターなびあすに設置の人権協共同作品コーナー
(作品作りへの参加等)
④人権作品(短い手紙・絵・ポスター・写真への応募)
⑤町民人権講座(年間6回開催)
⑥人権のつどい(12月の人権週間中に開催)
⑦集落や職場の研修会

- 5 12月の人権週間中に、人権擁護委員と人権協の委員と一緒に広報車で町内を巡回していますが、気がつきましたか。
ア) 気がついた イ) 気がつかなかった
- 6 人権のつどいや町内の各種イベントで啓発物品(ウェットティッシュやハンドタオルなど)を配布していることを知っていますか。
ア) 知っている イ) 知らない
- 7 人権協では、年3回(7月・11月・3月、年度によっては臨時増刊号有)広報誌「ふれあい」を各戸配布していますが、読んだことがありますか。
ア) 読んだことがある イ) 読んだことがない
- 8 なびあすに年間を通して人権共同作品コーナーを設けていましたが(令和3年度「リボンの共同作品」、令和2年度「ハートの共同作品」など)ご覧になりましたか。
ア) 見た イ) 見たことがない
- 9 人権協では、カラー刷りの啓発資料「ふれあい」(令和3年度「当たり前を見直そう」、令和2年度「性のグラデーション」など)を、11月に各戸配布しています。
あなたは読んだことがありますか。
ア) 読んだことがある イ) 読んだことがない
- 10 人権協では、人権作品(短い手紙・ポスター・絵・写真)の公募を行っていますが、その公募について関心がありますか。
ア) 関心があり、作品応募もした
イ) 関心がある
ウ) 知っているがあまり関心がない
エ) 公募していることを知らなかった

- 2 1 地域の伝統行事（村行事）・しきたり等の中で、女性が排除される場合があることについて、どう思いますか。
- ア) 神事でもあり、昔からのしきたりだから当然である
 - イ) おかしいと思うが、昔からのしきたりだから仕方ないと思う
 - ウ) おかしいと思うし、変えていくべきだと思う
 - エ) よく分からない
- 2 2 日本にはいろいろな風習がありますが、次に例示した①～④までの風習について、あなたの考えに近いものを ア) イ) ウ) から選んで () に記入してください。
- ①「友引」の日に、葬式をしてはいけないという風習 ()
 - ②結婚式は「大安」の日がよいという風習 ()
 - ③結婚相手を決めるときに、家柄とか血筋を問題にする風習 ()
 - ④結婚式場で、「〇〇家、〇〇家結婚披露宴」といった掲示をする風習 ()
- ア) 当然のことだと思う (いつも気にしている)
 - イ) おかしいことだが、自分だけ反対しても仕方ないと思う
 - ウ) 間違っていると思う (気にしていない)
- 2 3 日本の社会には基本的人権に関わるいろいろな問題がありますが、あなたが関心を持っているものは何ですか。(複数選択可)
- ア) 学校でのいじめや体罰の問題
 - イ) 幼児・児童への虐待の問題
 - ウ) 女性に対する差別や暴力(DV)などの問題
 - エ) 障がい者問題
 - オ) 職場でのハラスメント (パワハラ、セクハラなど)
 - カ) 外国人問題
 - キ) 同和問題
 - ク) アイヌ問題
 - ケ) 高齢者問題
 - コ) 環境問題
 - サ) 犯罪の被害にあった方などに関する問題
 - シ) 犯罪者(刑余者)やその家族に対する差別の問題
 - ス) 感染症(新型コロナウイルスなど)に関わる誹謗中傷の問題
 - セ) ハンセン病回復者に対する差別の問題
 - ソ) マスコミ報道による人権侵害の問題
 - タ) インターネットやSNSによる人権侵害の問題
 - チ) 北朝鮮による日本人拉致問題
 - ツ) 性の多様性(LGBTQなど)に関する問題
 - テ) その他()
 - ト) 特にない
- 2 4 結婚は、当人同士の合意により成立することになっています。しかし、現実には、人権に関する問題でまわりの人たちが反対することがあります。このことについて、あなたはどのように考えますか。
- ア) 当人同士の合意があればよい。まわりの意見に左右されるべきでない
 - イ) 家族やまわりの人の意見も無視できないが、どちらかといえば、当人同士の合意が尊重されるべきである
 - ウ) 当人同士の合意も無視できないが、どちらかといえば、家族やまわりの人の意見が尊重されるべきである
 - エ) 何よりも家族やまわりの人の意見が、より尊重されるべきである

- 25 あなたが、人権問題について関心を持ったり理解を深めたりするに当たって、どのようなものが役立つと考えますか。(複数回答可)
- | | |
|--------------------|--------------------|
| ア) 講演会や講座 | ク) 書籍 |
| イ) 地域での懇談会 | ケ) 新聞や雑誌記事 |
| ウ) 広報誌 | コ) 人権啓発広告(キャッチコピー) |
| エ) パンフレットや冊子 | サ) 学校での人権学習 |
| オ) テレビ・ラジオ番組 | シ) その他() |
| カ) インターネットや SNS など | ス) 特になし |
| キ) 映画やビデオ | |
- 26 人権意識を高めていくには、あなたはどうしたらよいと思いますか。
次の中から、最も重要だと思うものを選んでください。(1つだけ選択)
- | | |
|---------------------|-----------|
| ア) 行政による啓発活動 | オ) 地域での教育 |
| イ) 団体(人権協など)による啓発活動 | カ) 特に必要ない |
| ウ) 家庭での教育 | キ) その他() |
| エ) 学校での教育 | |
- 27 友達などの親しい人と話をしているとき、旧同和地区の人に対する差別的な発言があった場合、あなたはどうしますか。
- | |
|-----------------------------------|
| ア) 差別的な発言であることを指摘して、差別について話し合うと思う |
| イ) 他の話題に変えようと努力すると思う |
| ウ) その話題に同調すると思う |
| エ) 特に何もせず黙っていると思う |
| オ) その他() |
- 28 同和問題の解決に対するあなたの考え方に近いものはどれですか。
- | |
|--|
| ア) 旧同和地区の人たちだけの問題で、自分には直接関係ないと考えている |
| イ) 必ずしも無関係だとは思わないが、自分ではどうしようもないので、自分だけは差別しないよう心がけたいと思う |
| ウ) 基本的人権に関わる国民一人ひとりの問題なので、自分も解決に努力しようと思う |
| エ) よくわからない |
| オ) その他() |
- 29 人権問題には、同和問題をはじめ問23で例示した様々な問題がありますが、今後の同和問題の啓発・教育のあり方について、あなたの考え方に近いものはどれですか。
- | |
|---|
| ア) 同和問題は他の人権問題と比べてより重要な問題なので、特に重点的に啓発・教育を行うべきである |
| イ) 同和問題について積極的な啓発・教育を行うとともに、他の人権問題についても同様に啓発・教育を行うべきである |
| ウ) 人権意識そのものを高めることが重要なので、同和問題だけをとりあげて啓発・教育を行うのではなく、人権問題全体の啓発・教育の一環として行うべきである |
| エ) 同和問題よりも他の人権問題についての啓発・教育の方を重点的に行うべきである |
| オ) 啓発・教育は必要ない |
| カ) その他() |
| キ) よくわからない |

質問は以上です。アンケートにご協力いただきありがとうございました。

美浜町
人権に関する町民意識調査
実施報告書

美浜町人権尊重啓発協議会(美浜町教育委員会事務局内)
〒919-1141 福井県三方郡美浜町郷市 29-3
美浜町生涯学習センターなびあす
TEL:(0770)32-1212
FAX:(0770)32-1222

発行年月:令和5年3月